

Recdia (ver.1.0.10) 操作マニュアル

株式会社サン・データセンター

【目次】

1. はじめに	3
2. Recdia を使用する前に	5
3. ファイル操作	21
4. 録音する	26
5. 再生する	34
6. 各種設定	38
7. IN ・ OUT の操作	43
8. フレーズの移動	52
9. UNDO（元に戻す）の操作	56
10. 校正票について	57
11. Recdia を終了する	60
12. よくある質問と答え	61
13. 仕様諸元	68
14. ショートカットキー一覧	69

1. はじめに

1-1. ソフトの概要	3
1-2. Recdia 操作マニュアルの読み方	4

【1-1. ソフトの概要】

◆ Recdia はどんなソフト？

このソフトは録音図書製作のための朗読録音ソフトです。

マウスでの操作の他、全ての作業に対してショートカットキー(※1)が割り当てられているので、片手で簡単に作業を行うことができます。

作成した Wave ファイル(※2)の読み間違った部分だけを、IN・OUT 機能を使って部分的に修正することができます。また、Wave ファイルの頭出し・末尾移動機能や、フレーズの前後移動機能、MARK ボタンのブックマーク機能を使って編集・再生箇所へ素早く移動することができるので、作業を効率よく行うことができます。

※1. ショートカットキー

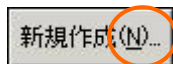
マウス操作の代わりに複数キーの組み合わせで任意のプログラムを起動したり、機能を実行したりするキーボードキーのことをいいます。

このショートカットキーを使えばマウスを使うよりも速く効率的に操作することができます。どのボタンにどのショートカットキーが割り当てられているのかは、14. ショートカットキー一覧を参照して下さい。

＜使用方法（■はアルファベットを意味します。）＞

- ・(■).....Altキーを押しながら■キーを押します。
- ・Shift + ■.....Shiftキーを押しながら■キーを押します。
- ・(■)..... ■キーのみ押します。

例)



この場合、Alt キーを押しながらNを押すと、新規作成の画面が開きます。

※2. Wave ファイル

音声データのことをいいます。

【1-2. Recdia 操作マニュアルの読み方】

◆ 本書の構成

本書は、録音方法、再生方法など、まとまった単位で14個の章から構成されています。どのページからでも読むことはできますが、章単位で一連の流れを持っているものもありますので、なるべく章の頭から読まれることをおすすめします。

各ページには、その目的で必要になる手順の画面と操作方法を掲載しています。

◆ 用語について

文章は基本的にパソコンで使用されている用語を用いて説明しています。

よく使われている用語を以下に説明します。

デスクトップ	Windows の画面全体のこと。
フォルダ	ファイルを整理するために使われる分類。 名前のついた引き出しのようなもの。
ファイル	データに名前をつけて保存したもの。
ポインタ	マウスの動きに合わせて画面を動く目印。 通常は矢印の形をしている。
カーソル	文字を入力する時に表示される垂直の点滅する棒のこと。
ショートカットキー	マウスでの操作のかわりに、キーボードキーで実行する操作。
クリック	マウスの左ボタンを1回押す操作。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回押す操作。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したまま、マウス本体を動かすこと。

※クリック方法について

本書では Windows の標準であるダブルクリックモード（一度クリックして選択し、ダブルクリックで開くという方法）を採用しています。

シングルクリックモード（一度クリックして開くという方法）を採用している方は、文章中のダブルクリックをシングルクリックに読みかえてご使用下さい。

（どちらのクリック方法を採用しているか確認したい場合は、エクスプローラを開いて、[ツール]メニューの中の[フォルダオプション]を選択し、[全般]というタブをクリックして下さい。）

当製品は、財団法人テクノエイド協会の助成金による事業で開発されたものです。

開発協力 日本点字図書館

2. Recdia を使用する前に

2-1. ソフトのインストール、ユーザー登録をする……………	5
2-2. マイク・ヘッドホンの準備……………	5
2-3. パソコン電源設定……………	6
2-4. Recdia を起動する……………	8
2-5. 各部の名称……………	11
2-6. 準備が終ったら……………	20

【2-1.ソフトのインストール、ユーザー登録をする】

◆Recdia・RecdiaPlus をご使用になるには、ソフトのインストールとユーザー登録を行う必要があります。
別冊『Recdia インストールガイド・ユーザー登録ガイド』をご覧ください。

【2-2.マイク・ヘッドホンの準備】

(1) マイク・ヘッドホンを直接パソコンに接続する場合

① マイクをつなげる

パソコンのマイク端子(マイクマークの部分)にマイクのプラグを接続します。

② ヘッドホンをつなげる

パソコンのヘッドホン端子(サウンドマークの部分)にヘッドホンのプラグを接続します。

※ヘッドホンの他、イヤホン・スピーカーでもお使いいただけます。

(2) USB 音源(USB オーディオインターフェース、オーディオキャプチャー)を使用する場合

① USB音源をつなげる

パソコンのUSBコネクタ(下の注意をご確認ください)に、USBケーブルでUSB音源と接続します。

② マイクをつなげる

USB音源のマイク端子(MIC またはマイクマークの部分)に、マイクのプラグを接続します。

③ ヘッドホンをつなげる

USB音源のヘッドホン端子(PHONES またはサウンドマークの部分)に、ヘッドホンのプラグを接続します。

※USB音源は取扱説明書をよくお読みのうえご使用下さい。

注意！

- ・パソコンの機種により上記内容と異なる場合には、パソコンの取扱説明書に従って下さい。
- ・マイクのプラグ(ケーブル)と、パソコン・USB音源のマイク端子が合わない場合には、別途

変換アダプター(変換ケーブル)が必要になります。マイク、パソコン、USB 音源の各取扱説明書でご確認下さい。

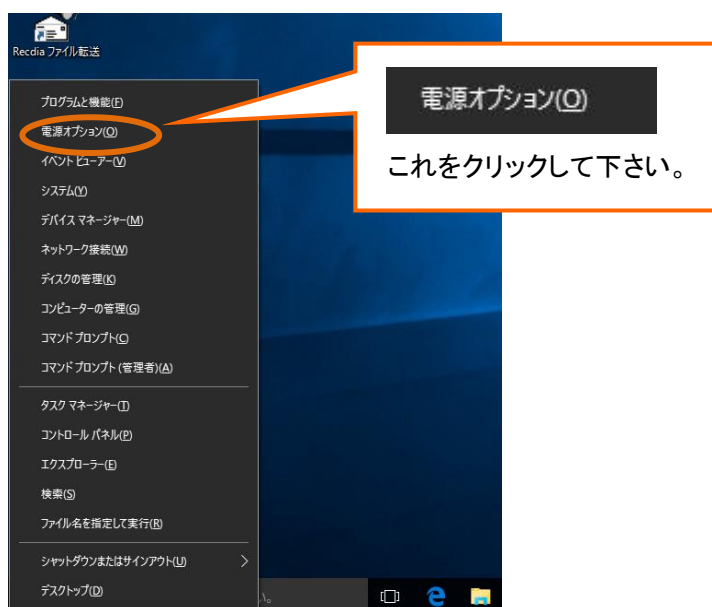
- ・ USB音源をパソコンのUSB3.0 規格のポートに接続した場合、正常に動作しない場合があります。USB 音源の取り扱い説明書等で USB3.0 規格に対応しているかをご確認下さい。
USB3.0 規格に対応していない場合は、USB2.0 規格のポートに接続して下さい。
- ・ パソコンにUSB3.0 規格以外のポートが無い場合、USB2.0 規格のUSBハブを使用する事で再生が可能になる場合があります。

【2-3.パソコン電源設定】

ほとんどのパソコンは、電力の消費を抑えるため、USB で接続する機器の電源が自動で切れるように初期設定されています。そのため作業中に USB 接続機器の電源が切れてしまうことがあります。

頻繁に切れるようであれば下記の手順でパソコンの設定を変更して下さい。

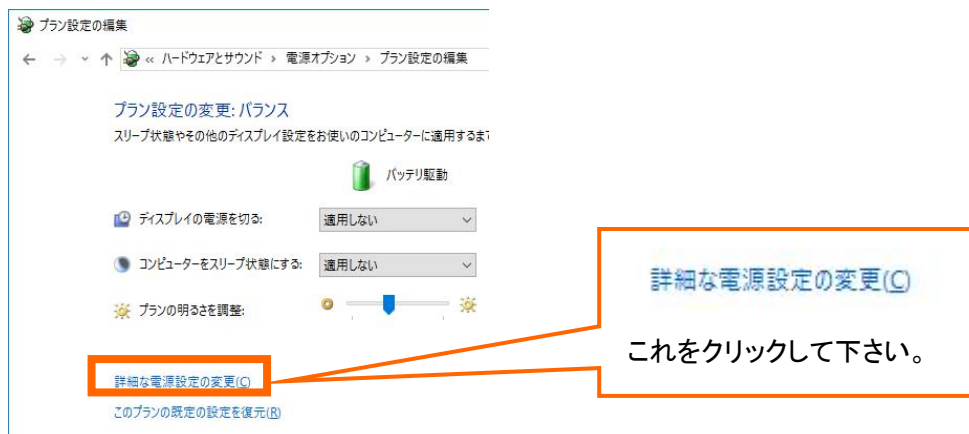
- (1)「Windows」キーと、「X」キーを同時に押すとメニュー一覧が表示されるので、「電源オプション」をクリックしてください。



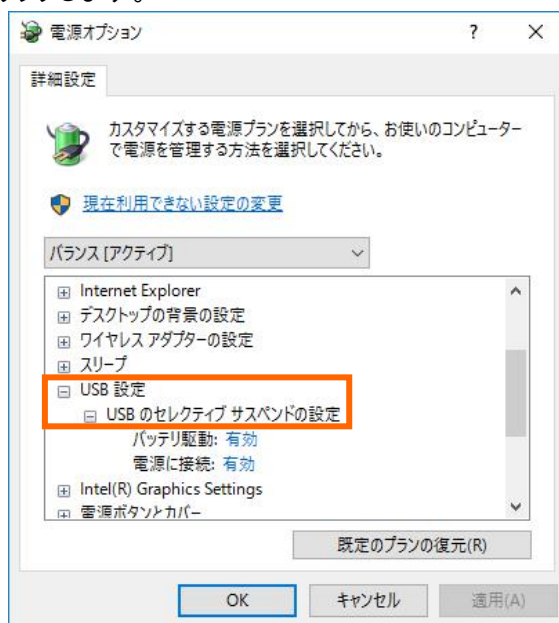
- (2) 表示されたメニューの中から「プラン設定の変更」を選択します。



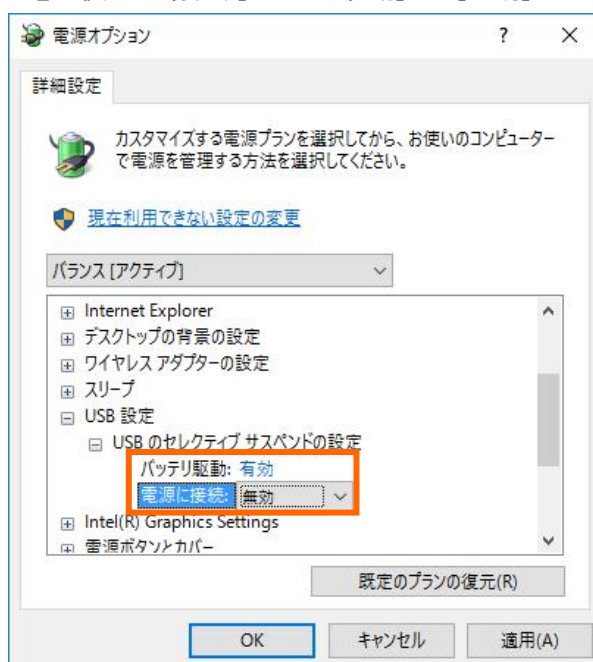
- (3) 表示されたメニューの中から「詳細な電源設定の変更」を選択します。



(4) 表示された「電源オプション」から「USB 設定」の+、「USB のセレクトティブサスペンドの設定」の+をクリックします。



(5) 表示された「電源に接続」を「無効」にして下さい。
ノート PC をお使いの場合、「バッテリー駆動」も「無効」にして下さい。



【2-4.Recdia を起動する】

Recdia を起動するには、デスクトップ上のアイコンから起動する方法と、スタートメニューから起動する方法があります。

(1) デスクトップ上のアイコンから起動する場合

- 1) Recdia をインストールすると、デスクトップに右記のアイコンが表示されます。これをダブルクリックして下さい。

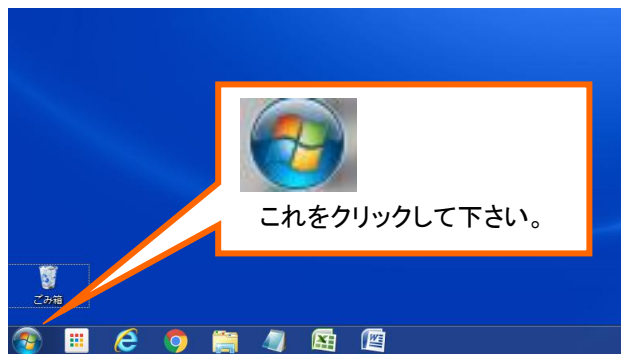


※Recdia バージョン 1.0.9 以前では、「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」(Windows10)、または「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」(Windows7)という画面が表示されます。この場合は「はい」をクリックして画面を閉じます。

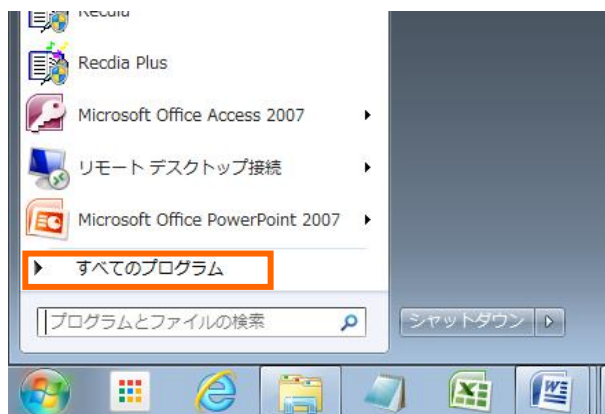
(2) スタートメニューから起動する場合

【 Windows 7 】

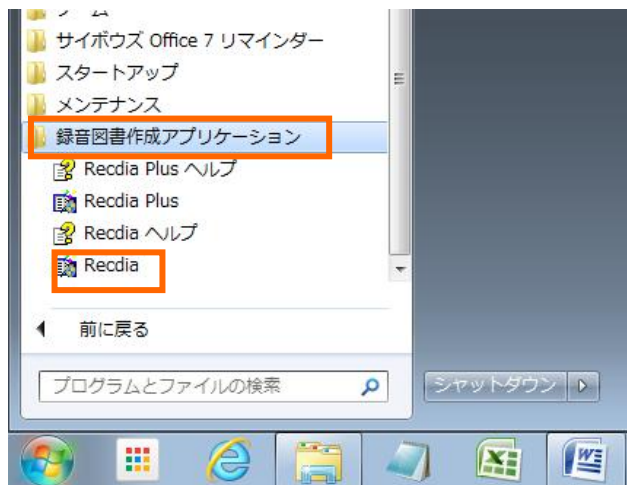
- 1) 画面下の[スタート]ボタンをクリックして下さい。



- 2) 表示されたメニューの中から [すべてのプログラム] をクリックして下さい。

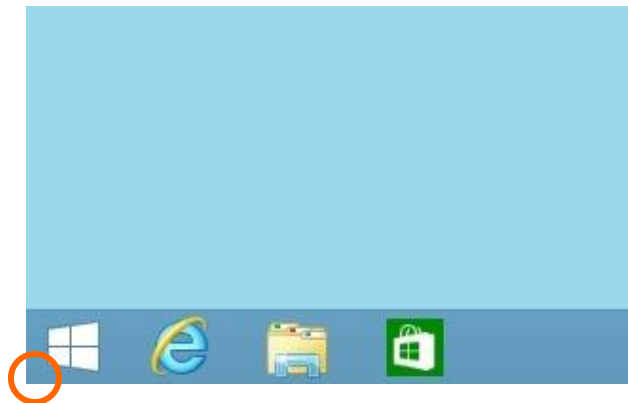


- 3) 表示されたメニューの中から [録音図書作成アプリケーション] を開き、Recdia のアイコンをクリックして下さい。

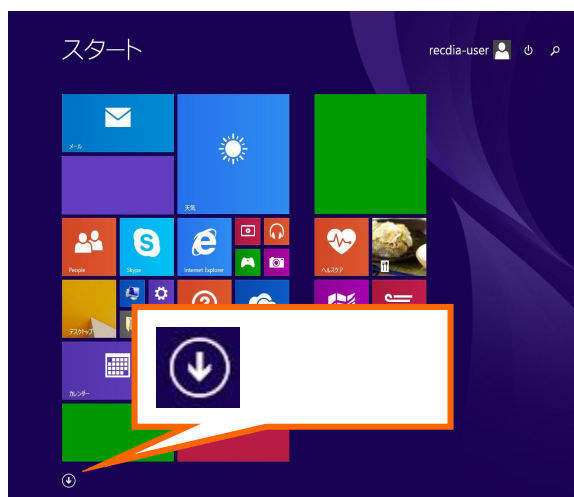


【 Windows 8.1 】

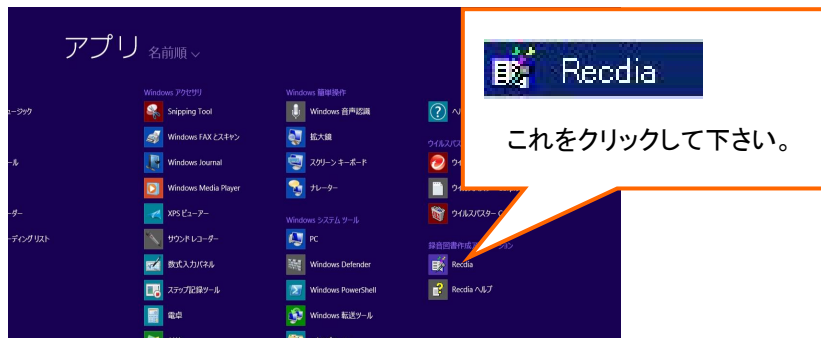
1) デスクトップ画面左下隅をクリックして下さい。



2) 以下の画面が表示されるので、画面下の矢印をクリックして下さい。

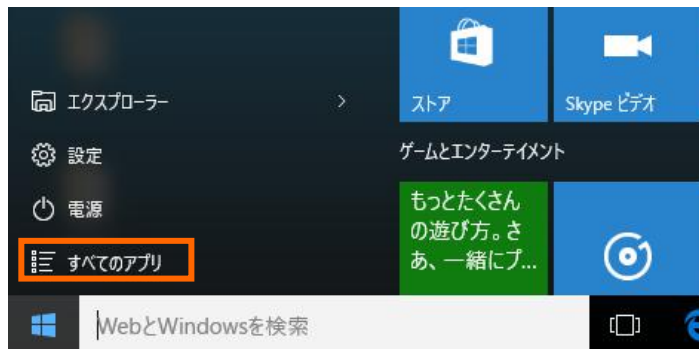


3) 以下の画面が表示されるので、[録音図書作成アプリケーション]の[Recdia]をクリックして下さい。

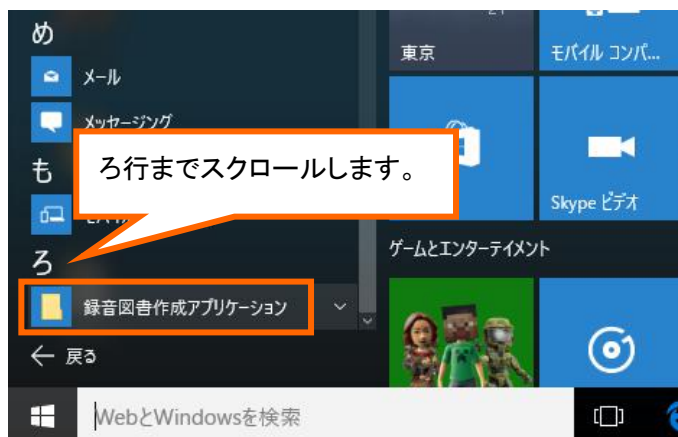


【 Windows 10 】

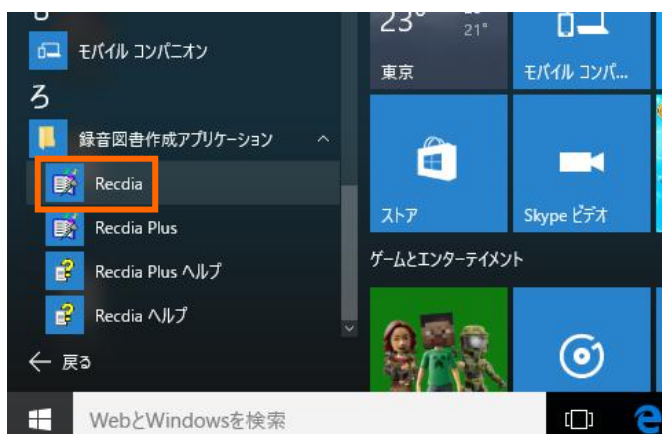
1) デスクトップ画面  をクリックし、表示された「すべてのアプリ」をクリックして下さい。



2) 表示されたアプリ一覧から「録音図書作成アプリケーション」をクリックして下さい。



3) 以下の画面が表示されるので、「Recdia」をクリックして下さい。



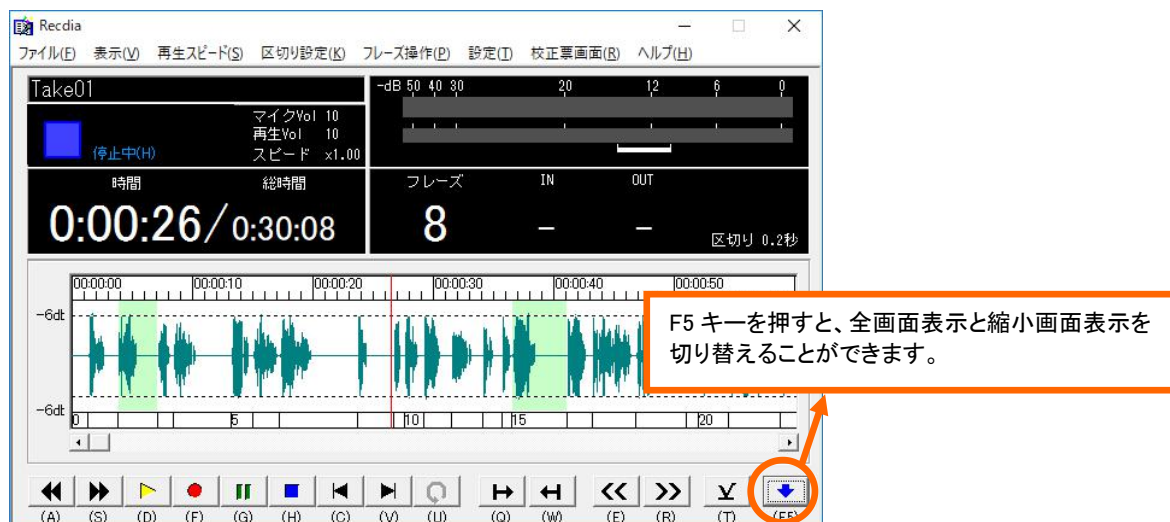
【2-5.各部の名称】

◆ Recdia の画面について説明します。

(1) Recdia 全体図



(2) Recdia 縮小画面

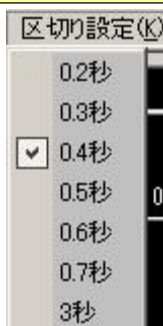


(3) 各部の名称

1

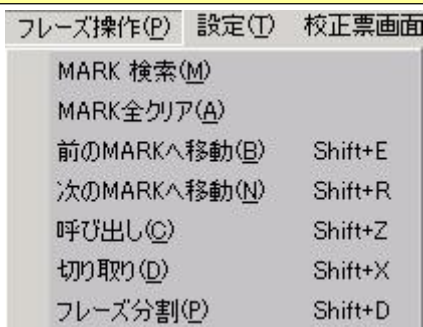
Recdia							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
①ファイル							
			・新規作成 新しい Wave ファイルを作成します。 ・削除 Wave ファイルを削除します。 ・分割 一つの Wave ファイルを二つに分割します。 ・結合 二つの Wave ファイルを一つに結合します。 ・選択 新規作成または編集・再生したい Wave ファイルの保存先フォルダを選択します。 ・Recdia の終了 Recdia を終了します。				
②表示							
			画面の表示を切り替えます。 ・標準 全画面を表示した状態。 ・縮小 ファイルリストなどを非表示にした状態で表示します。 ・音声波形表示 音声の波形を表示します。チェックを外すと非表示になります。 ・フレーズ表示 音声波形の下部に、フレーズバーを表示します。チェックを外すと非表示になります。 ・マーク表示 マークを付けたフレーズが、音声波形上で緑色に着色します。チェックを外すと非表示になります。				
③再生スピード							
			再生スピードの設定を行います。 数値が大きくなるほど、再生スピードが速くなります。 音程を変えずに倍速で再生することができます。 ・x2.00(ライン出力) 倍速録音に対応しているカセットデッキの場合は、これを使用して倍速でダビングすることもできます。				

④区切り設定



フレーズの区切りを設定します。
数値は区切りとみなされる秒数です。
(停止中のみ選択が可能です。)

⑤フレーズ操作 (詳細は8. フレーズの移動を参照して下さい。)



・MARK 検索

MARK ボタンでチェックしたフレーズのみ、BACK、NEXT ボタンでのフレーズ移動が可能になります。

・MARK 全クリア

設定済みの MARK を全て解除します。

・前の MARK へ移動

MARK されている前のフレーズへ移動することができます。

・次の MARK へ移動

MARK されている次のフレーズへ移動することができます。

・呼び出し

前回作業していた IN・OUT 設定を呼び出すことができます。

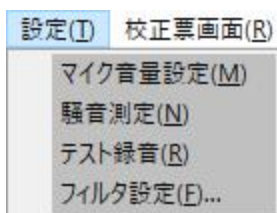
・切り取り

IN・OUT で設定した間のフレーズを切り取ることができます。

・フレーズ分割

フレーズを分割することができます。

⑥設定 (詳細は【4-1.録音前の設定】、【6-2-2.フィルタ設定】を参照して下さい。)



・マイク音量設定

マイクの音量を設定します。

・騒音測定

自動で騒音を測定します。

・テスト録音

録音を行うユーザーの音声データを収集します。
16 フレーズの平均音圧が表示されます。
(音声補正機能で使用します。)

・フィルタ設定

音声補正の目標値を設定します。

⑦校正票画面 (詳細は別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。)

校正票画面(R) ヘルプ(H) 校正票一覧画面表示(V) F6 校正票追加・編集画面表示(A) F7 校正情報削除(D) 校正開始位置の補正值設定(S)	・校正票一覧画面表示 校正票一覧画面を表示します。 ・校正票追加・編集画面表示 校正票追加画面を表示します。 ・校正情報削除 現在選択中のファイルの校正票を削除します。 ・校正開始位置の補正值設定 校正時に、時間・総時間エリアをクリックしたときのタイムラグ(校正開始位置のズレ)を補正します。補正できる時間は、－3秒～0秒(補正無し)まで、0.1秒単位です。※初期値は－2秒 詳細は【10-1.校正票の作成】(4)校正開始位置の補正值設定 を参照して下さい。
⑧ヘルプ	
ヘルプ(H) ヘルプ(H) バージョン情報(A)...	・ヘルプ ヘルプ画面が表示されます。 ・バージョン情報 Recdia のソフトの情報が表示されます。

2



①選択ファイル名表示	
Take01	現在選択している Wave ファイル名を表示します。
②録音・再生作業状態表示	
	現在選択している Wave ファイルの作業状態(再生中、録音中など)を表示します。
③ボリューム・スピード表示	
マイクVol 10 再生Vol 13 スピード x1.00	現在のマイクのボリューム、再生ボリューム、再生スピードを表示します。

3

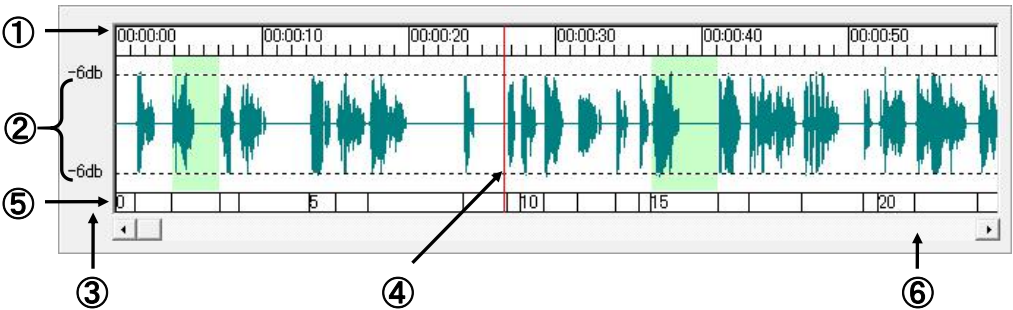
時間・総時間

時間 総時間 0:00:00 / 0:22:15	・時間 現在録音・再生中の時間を表示します。 ・総時間 録音・再生する Wave ファイルの総時間を表示します。 ※時間または総時間の上でクリックすると、校正票が
--	--

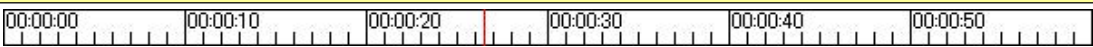
表示されます。

(校正票については、別冊の『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。)

4



①タイムルーラー



表示中の波形の時間軸(位置)を表します。(1メモリ=1秒)

②音声波形 / マーク



音声波形表示チェック時に、決定した Wave ファイルの音声波形が表示されます。

長時間の朗読により、下がってきた声の音圧を、目視で認識することができます。また、小さなノイズを目視で見つけることができます。

またマーク表示チェック時に、音声波形上でマークの付いたフレーズが着色します。

③レベルルーラー



音声のレベルを表示します。(- 6 dB は音圧の目標値として音声と比較できるように表示しています)

④カーソル

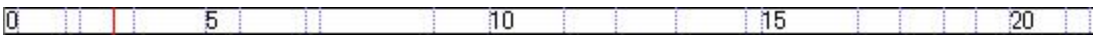


音声波形表示上の位置(時間)を示します。

カーソル位置を起点に、再生、録音、フレーズの挿入などの操作を行うことができます。

(カーソル位置の移動は、再生・録音の停止中に限ります)

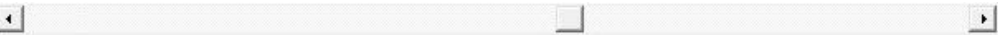
⑤フレーズバー



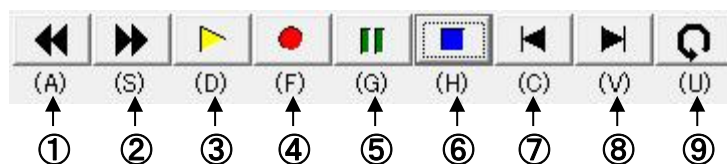
フレーズ表示チェック時に、フレーズ区切り線と5単位のフレーズ番号を表示します。

フレーズ区切り設定を変更すると、区切り線の位置が変わります。

⑥スクロールバー

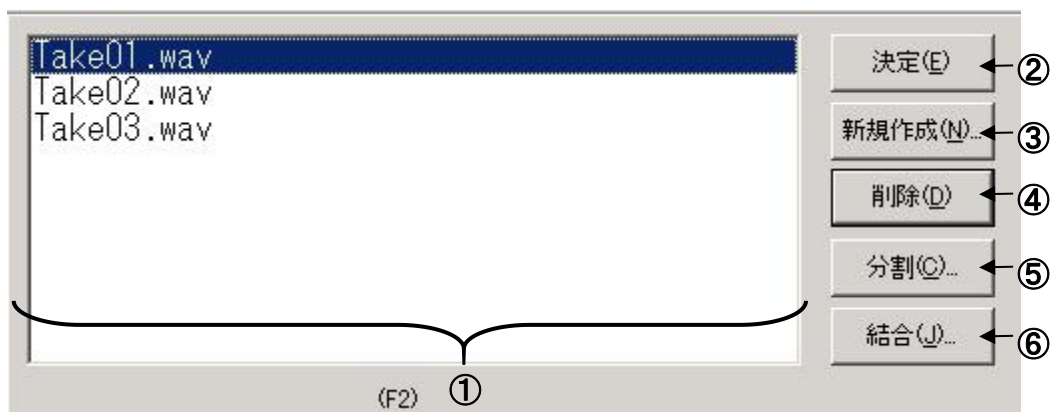


スクロールバーのつまみを左右に移動させることにより、波形の表示範囲の調整が行えます。



①巻戻しボタン	
	巻戻します。 ボタンを押す回数によって、より早く巻戻すことができます。 (1 回:10 倍速 2 回:120 倍速 3 回:600 倍速) ショートカットキーでは A を押します。
②早送りボタン	
	早送りします。 ボタンを押す回数によって、より早く早送りすることができます。 (1 回:10 倍速 2 回:120 倍速 3 回:600 倍速) ショートカットキーでは S を押します。
③再生ボタン	
	Wave ファイルを再生します。 ショートカットキーでは D またはスペースキーを押します。
④録音ボタン	
	Wave ファイルに音声を録音します。ボタンを一度押すと、録音一時停止状態になり、もう一度押すと録音が始まります。 ショートカットキーでは F を押します。
⑤一時停止ボタン	
	録音・再生を一時停止します。 もう一度ボタンを押すと、録音・再生を再開します。 ショートカットキーでは G を押します。
⑥停止ボタン	
	録音・再生を停止します。 ショートカットキーでは H またはスペースキーを押します。
⑦HEAD ボタン	
	Wave ファイルの先頭へ移動します。 (再生・録音中は押すことができません。) ショートカットキーでは C を押します。
⑧TAIL ボタン	
	Wave ファイルの末尾へ移動します。 (再生・録音中は押すことができません。) ショートカットキーでは V を押します。
⑨UNDO ボタン	
	録音、修正録音、切り取りのいずれかの操作を行ったあと、ボタンを一度押すと、元の状態に戻ります。 ショートカットキーでは U を押します。

6



①ファイルリスト

Take01.wav
Take02.wav
Take03.wav

選択したフォルダ内にある Wave ファイルを表示します。
F2キーを押すと、ファイルリスト内を矢印↑↓キーで
カーソルを移動することができます。
また、リストの内容が更新されます。

②決定ボタン

決定(E)

作業する Wave ファイルを決定します。
ショートカットキーでは Alt+E を押します。

③新規作成

新規作成(N)...

新しい Wave ファイルを作成します。
ショートカットキーでは Alt+N を押します。

④削除ボタン

削除(D)

Wave ファイルを削除します。
ショートカットキーでは Alt+D を押します。

⑤分割ボタン

分割(C)...

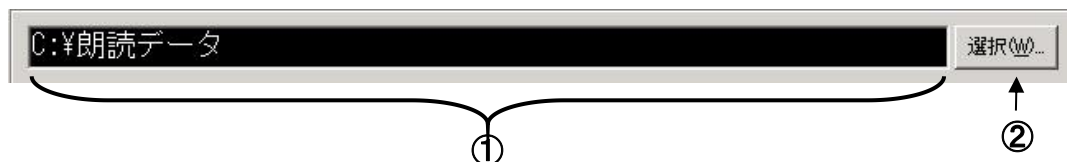
一つの Wave ファイルを二つに分割します。
ショートカットキーでは Alt+C を押します。

⑥結合ボタン

結合(J)...

二つの Wave ファイルを一つに結合します。
ショートカットキーでは Alt+J を押します。

7



①選択フォルダ表示

C:\¥朗読データ

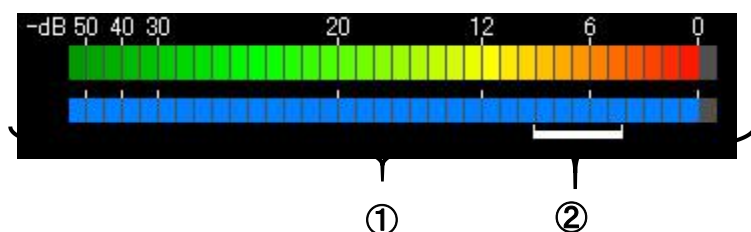
現在選択している保存先のフォルダを表示します。

②選択ボタン

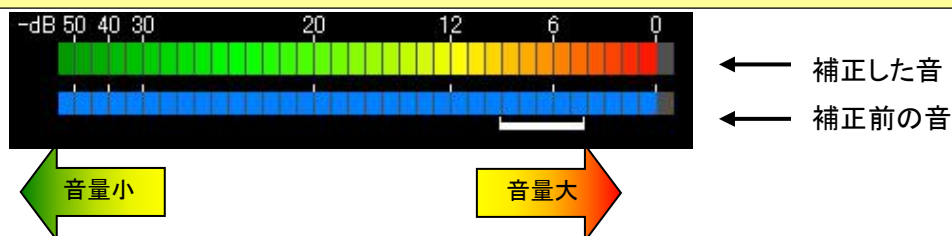
選択(W)...

新規作成または編集・再生したい Wave ファイルの
保存先フォルダを選択します。
ショートカットキーでは Alt+W を押します。

8



①音量レベルメーター



再生・録音中の音量レベルが表示されます。

右にいくほど音量レベルは高く、左にいくほど音量レベルは低くなります。

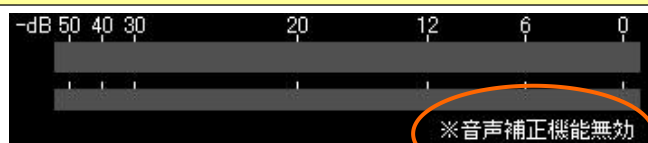
②目標範囲



マイク音量設定を行う時、声の大きさの目標とする範囲を示します。

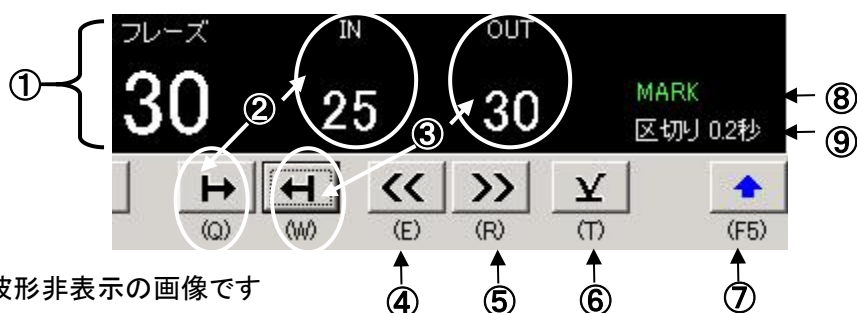
③音声補正機能無効

(詳細は【4-1. 録音前の設定】(4)テスト録音に失敗した場合を参照して下さい。)



テスト録音に失敗した場合、ここに表示されます。表示中は、録音は可能ですが音声補正機能は動作しません。

9



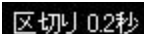
※音声波形非表示の画像です

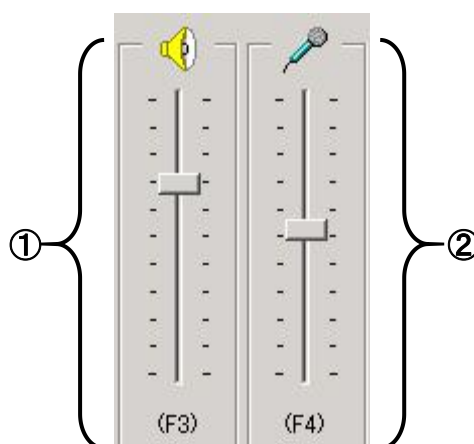
①フレーズ

フレーズ
30

フレーズとは、ある一定の長さで区切られた音声のかたまりのことをいい、フレーズ毎に左図のような番号がつけます。
ここでは現在位置のフレーズが表示されます。

②INボタン (詳細は7. IN・OUT の操作を参照して下さい。)

 (ボタン)  (表示)	フレーズの開始位置を指定します。 開始位置にしたいフレーズ番号を表示させた後、[IN]ボタンを押すと、左下図のように指定することができます。 もう一度押すと、指定を取り消すことができます。 ショートカットキーでは Q を押します。
③OUT ボタン (詳細は7. IN・OUT の操作を参照して下さい。)	
 (ボタン)  (表示①)  (表示②)	フレーズの終了位置を指定します。 終了したいフレーズ番号の次の番号を表示させた後、[OUT]ボタンを押すと、表示①のように指定することができます。 [OUT]ボタンを 2 回押すと、フレーズ番号を固定することができ、表示②のように赤く変わります。 さらにもう一度押すと、指定を取り消すことができます。 ショートカットキーでは W を押します。
④BACK ボタン	
	現在表示されているフレーズから前のフレーズへ戻ります。 ショートカットキーでは E を押します。
⑤NEXT ボタン	
	現在表示されているフレーズから次のフレーズへ進みます。 ショートカットキーでは R を押します。
⑥MARK ボタン (詳細は8. フレーズの移動を参照して下さい。)	
 (ボタン)  (表示)	聞きたいフレーズ番号を表示させて MARK ボタンを押すと、フレーズの背景が緑色に変わります。 MARK 設定を行うと、瞬時に聞きたい場所へ移動できます。 ショートカットキーでは T を押します。
⑦表示切替ボタン	
	全体画面と縮小画面を切り替えることができます。 ショートカットキーでは F5 を押します。
⑧MARK 表示	
	[フレーズ操作]メニューで[MARK 検索]を設定すると表示されます。 詳細は【8-2-2.MARK チェックを使ったフレーズ移動】を参照して下さい。
⑨区切り設定表示	
	現在の区切り設定の数値が表示されます。 詳細は【6-3.区切り設定の変更】を参照して下さい。



①再生音量 (詳細は【6-1.音量設定】を参照して下さい。)	
	再生音量の設定をします。 上にあげるほど、再生音量は大きくなります。 (USB 音源に接続の場合、ここではボリュームを調節できない場合もあります。) ショートカットキーでは F3 を押した後、矢印キーが使用できます。
②マイク音量 (詳細は【6-1.音量設定】を参照して下さい。)	
	マイク音量の設定をします。 上にあげるほど、マイク音量は大きくなります。 (USB 音源に接続の場合、ここではボリュームを調節できない場合もあります。) ショートカットキーでは F4 を押した後、矢印キーが使用できます。

【2-6.準備が終ったら】

Recdia 画面が表示できたら、さっそく録音作業・再生作業をしてみましょう。

- ◆ファイル操作(全般)については、3. ファイル操作を参照して下さい。
- ◆録音作業については、4. 録音するを参照して下さい。
- ◆再生作業については、5. 再生するを参照して下さい。
- ◆校正票については、別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。

3. ファイル操作

3-1. フォルダの選択	21
3-2. ファイルの新規作成	22
3-3. ファイルの決定	22
3-4. ファイルの削除	23
3-5. ファイルの分割	24
3-6. ファイルの結合	25

【3-1.フォルダの選択】

Wave ファイルの新規作成、または再生したい Wave ファイルの呼び出しを行う場合には、まず作業フォルダを選択する必要があります。

(1)[選択]ボタンを押します。

フォルダ指定場所の初期値は、「マイ ドキュメント」>「Recdia」>「work」フォルダです。



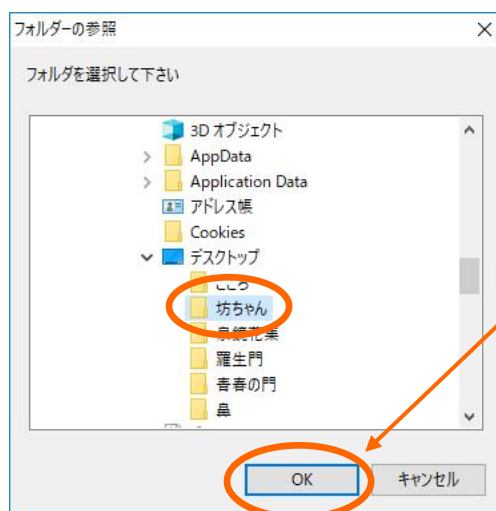
※Recdia 1.0.9 までのフォルダ指定場所の初期値は、「Program Files」>「Recdia」>「work」フォルダです。

C:\Program Files(x86)\Recdia\work

Recdia 1.0.10 以降「Program Files」内での保存ができなくなります。「Program Files」フォルダ内のファイルに録音や編集作業が必要な場合は、デスクトップ上などの作業フォルダにデータを移動してください。

(2)フォルダの参照画面が表示されます。

作業したいフォルダを選択して、[OK]ボタンを押して下さい。



例) Wave ファイルを、デスクトップ上のフォルダ「坊ちゃん」に作成する場合、フォルダ参照画面で、左図のようにフォルダを選択してから[OK]ボタンを押します。

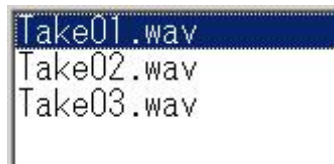
注)「Recdia」ではフォルダの作成はできません。保存したいフォルダをあらかじめ作成しておく必要があります。

(3)指定したフォルダが表示されました。



※Hanako というユーザー名でパソコンにサインイン(ログイン)しています。

- (4) 選択したフォルダの中に前回保存した Wave ファイルがある場合には、ファイルリストに Wave ファイル名が表示されます。



【3-2.ファイルの新規作成】

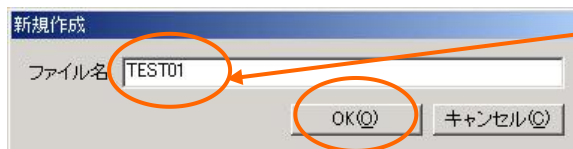
Wave ファイルの新規作成を行います。

(Wave ファイルを作成するには、まず「フォルダの選択」で保存する場所を指定することが必要です。
「フォルダの選択」については、【3-1. フォルダの選択】を参照して下さい。)

- (1) [新規作成]ボタンを押して下さい。



- (2) 新規作成ウィンドウが表示されるので、ファイル名を入力して下さい。



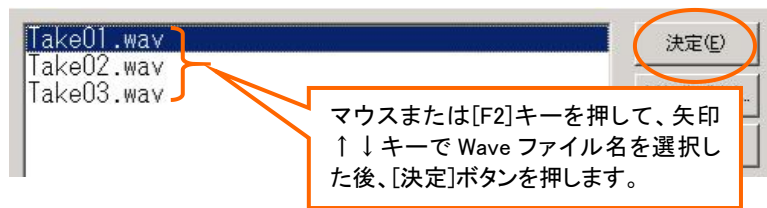
ウィンドウが開かれると、初期値に「Take01」という名前が入っています。必要に応じて名前を変更して下さい。(ここでは、「TEST01」と変更しています。)
入力したら[OK]ボタンを押して下さい。

※新規作成したファイルは自動的に決定されますので、【3-3.ファイルの決定】の操作は必要ありません。

【3-3.ファイルの決定】

録音または再生したい Wave ファイルの決定を行います。

- (1) 録音または再生したい Wave ファイル名を選択して[決定]ボタンを押します。



(2) 決定するとファイル名が表示されます。



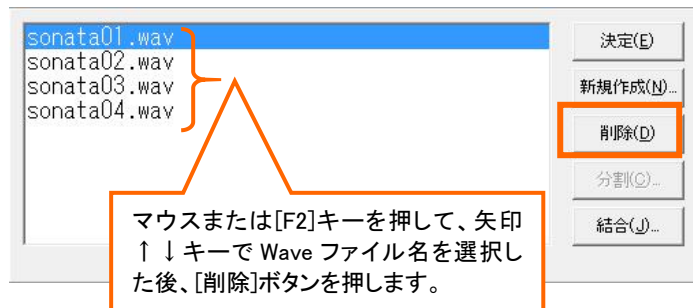
※[決定]ボタン以外にも、以下の操作でファイルの決定を行うことができます。

- Wave ファイル名を選択してダブルクリック
- Wave ファイル名を選択して Enter キー
- Wave ファイル名を選択して Alt キー+E

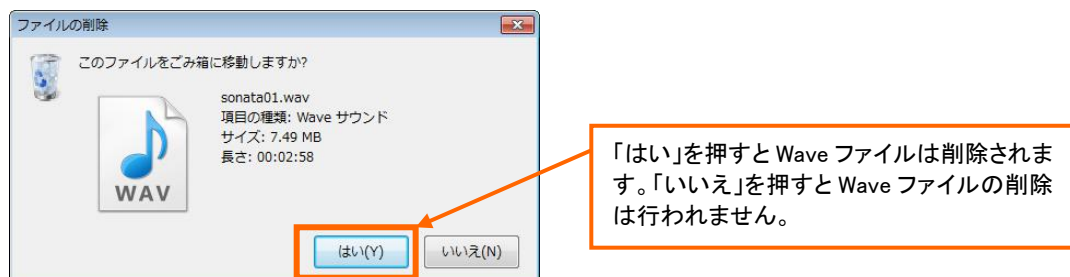
【3-4.ファイルの削除】

Wave ファイルを削除します。

(1) 削除したい Wave ファイル名を選択して[削除]ボタンを押します。



(2) 確認ウィンドウが表示されます。



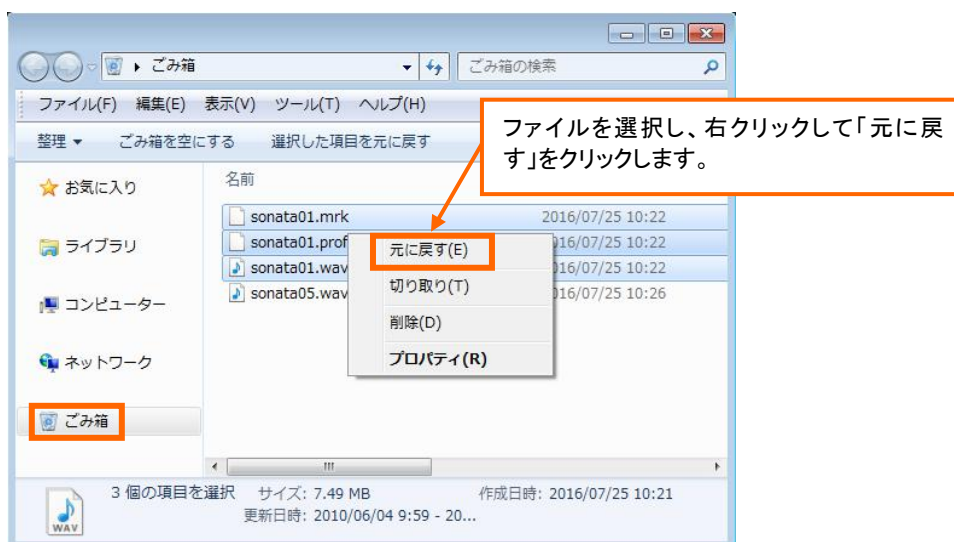
※削除したファイルは、一度 Windows 上の「ごみ箱」に入ります。

削除したファイルを元に戻したい場合は以下の作業を行ってください。

① デスクトップにある「ごみ箱」をダブルクリックします。



- ②元に戻したいファイルを選択し、選択した ファイル上で右クリックし、「元に戻す」をクリックします。



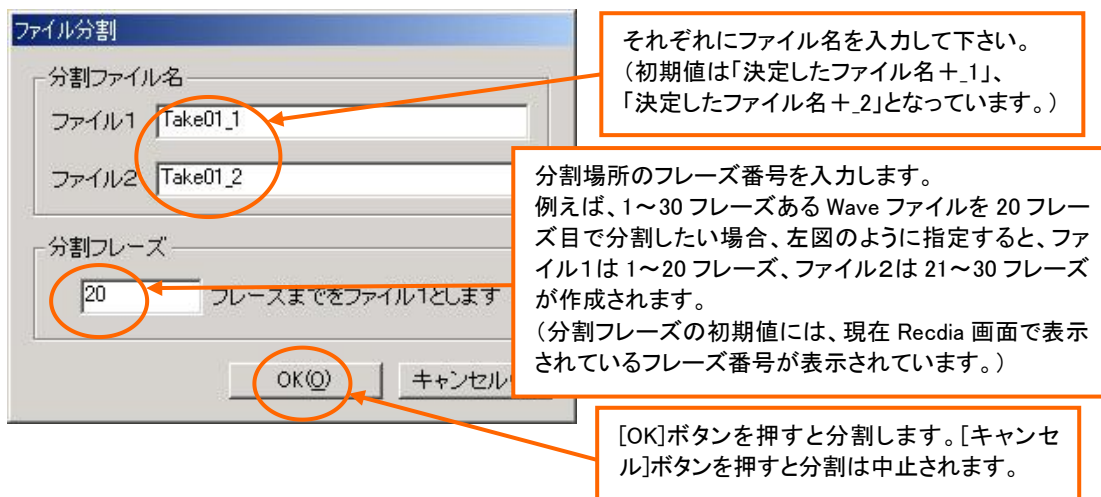
【3-5.ファイルの分割】

一つの Wave ファイルのデータを二つの Wave ファイルに分割します。

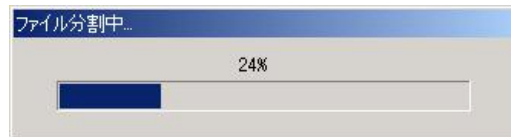
- (1) 分割したい Wave ファイル名を選択して[決定]ボタンを押します。
(ファイルの決定については、【3-3.ファイルの決定】を参照して下さい。)
- (2) ファイルを決定したら、[分割]ボタンを押します。



- (3) ファイル分割画面が表示されます。
分割ファイル名と分割フレーズを入力して[OK]ボタンを押して下さい。



(4)[OK]ボタンを押すとファイル分割中ウィンドウが表示されます。



(5)分割が完了するとファイルリストに分割したものが表示されます。

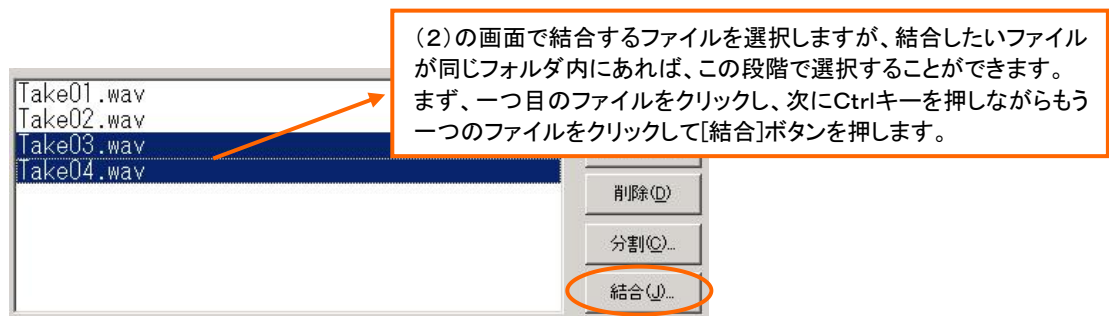
(分割する元のファイルも残っています。)



【3-6.ファイルの結合】

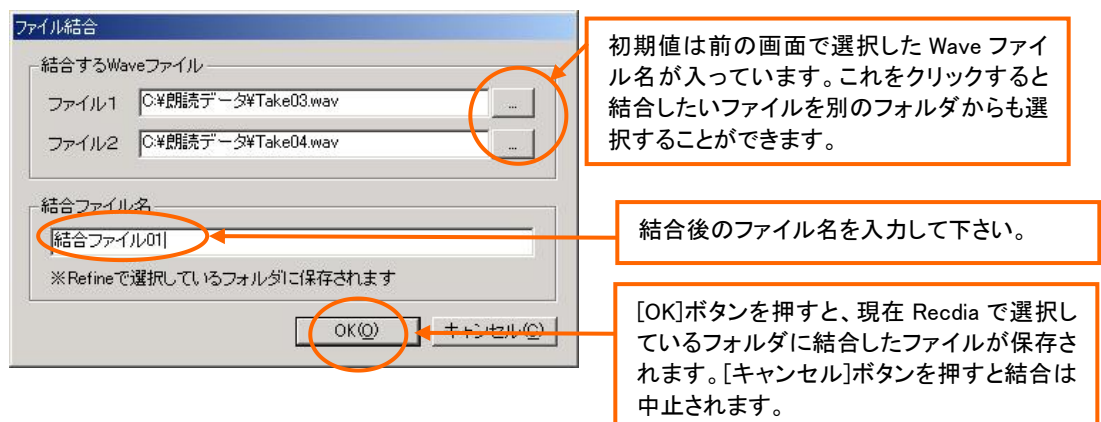
2つの Wave ファイルを1つの Wave ファイルに結合します。

(1) [結合]ボタンを押します。

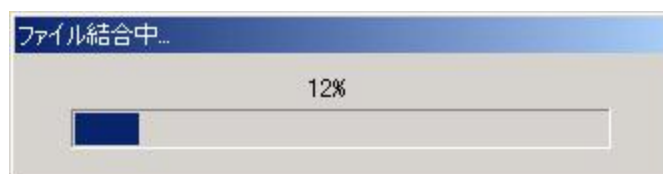


(2)ファイル結合が表示されます。

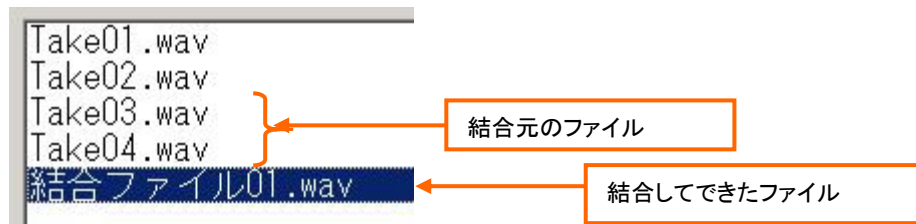
結合するファイル名を選択し、結合後のファイル名を入力して[OK]ボタンを押して下さい。



(3)[OK]ボタンを押すとファイル結合中ウィンドウが表示されます。



- (4)結合が完了するとファイルリストに結合したファイルが表示されます。
(結合する元のファイルも残っています。)



4. 録音する

- 4-1. 録音前の設定..... 26
- 4-2. 録音ファイルの決定..... 29
- 4-3. 録音..... 31

【4-1.録音前の設定】

Recdia で録音を開始する前に、以下の **録音設定** を行う必要があります。

- (1)マイク音量設定
- (2)騒音測定
- (3)テスト録音

一度設定すると、次回起動時にはマイク音量設定、テスト録音の設定が記憶されているので、この二つの設定は繰り返し行う必要はありません。

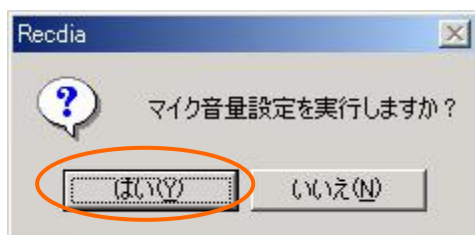
(再設定を行う場合については【12-5-1「録音設定はどんな時にするのですか？」】を参照して下さい。)

(1) マイク音量設定

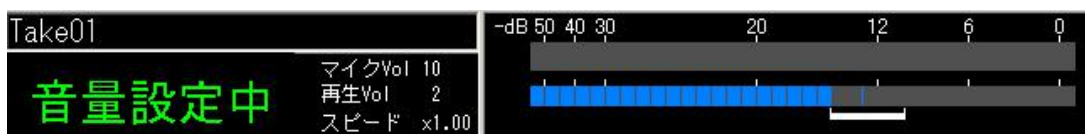
- ①メニューから[設定]を選択し、[マイク音量設定]をクリックします。



- ②以下の画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- ③音量レベルメーター（下段）に声の大きさが表示されるので、実際の朗読と同じように読みながら、できるだけ目標範囲（メーターの下の白い部分）に声が入るように、Recdia のマイク音量、または USB オーディオインターフェースの音量つまみを調節して下さい。
※無理に大きな声を出す必要はありません。目標範囲に届かなくても音声補正機能は有効となります。



- ④マイク音量の調節が終わったら、[停止]ボタンを押します。



(2) 騒音測定

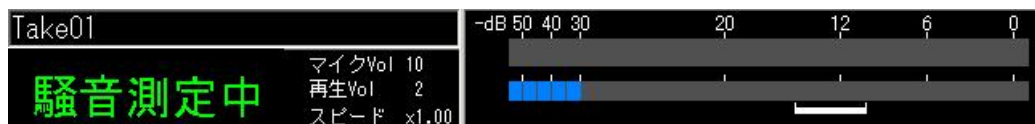
- ①メニューから[設定]を選択し、[騒音測定]をクリックします。



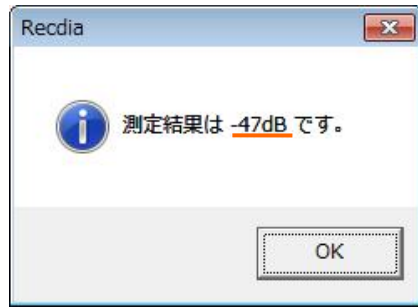
- ②以下の画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- ③自動的に騒音測定が始まります。（何も朗読しないように注意して下さい。）



④結果が表示されますので、確認して下さい。



・騒音測定の測定結果が -40dB より大きい(-30dB など)とフレーズが切れません。 -40dB より大きくなった場合は、-40dB より小さく(-50dB など)なるよう、録音環境を見直す必要があります。

・なおマイクボリュームを下げたり、騒音の原因を見つけて対処したあとは、(1)マイク音量設定からやり直す必要があります。

(3) テスト録音

①メニューから[設定]を選択し、[テスト録音]をクリックします。



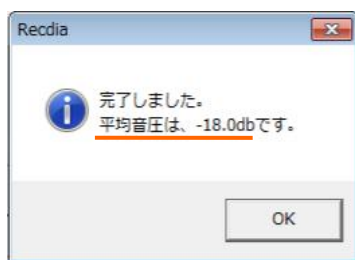
②以下の画面が表示されたら「はい」をクリックします。



③実際の録音と同じように朗読を行って下さい。途中で中断したい場合は、[停止]ボタンを押して下さい。(中断した場合は、もう一度行って下さい。)



④16フレーズになるとテスト録音が完了します。16フレーズの平均音圧が表示されます。



＜平均音圧の活用方法＞

Recdia 用パソコンを、複数人で交替で使う場合（スタジオ設置のパソコン使用等）は、利用者が利用するたびに「録音設定」を行う必要があります。

その際、音質のばらつきを防ぐには、初回の録音設定に近い環境を、次回以降も作る必要があるため、初回の録音設定で以下の内容をメモしておきます。

◆ 初回録音設定メモ

- ・ Recdia(オーディオインターフェース)の音量つまみの位置
- ・ 騒音測定値
- ・ 平均音圧の値
- ・ マイクと口との距離
- ・ マイクの位置
- ・ 姿勢
- ・ 本の位置 など

次回以降に、録音した音声の音質が著しく変わった場合は、録音設定で初回録音設定メモと違いがないかを確認します。

(4) テスト録音に失敗した場合

16フレーズに満たない状態で停止した場合、テスト録音失敗となり、以下のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。



テスト録音に失敗した場合でも録音を行うことは可能ですが、音声補正機能が無効になります。音声補正機能が無効の場合は音量レベルメーターの下にメッセージが表示されます。



テスト録音に失敗した場合は、再度テスト録音を行うことを推奨します。

（テスト録音に失敗した場合は、【12-6-1「3.テスト録音に失敗したため、音声補正機能を有効にすることができませんでした…」】を参照して下さい。）

※ 音声補正機能が無効の状態では録音した場合、フレーズが作成できない可能性があります。この場合、フレーズ操作による編集も不可能になります。

また、音声補正機能が無効の状態での音質は推奨できません。

※ 音声補正機能については【6-2-2. フィルタ設定】を参照して下さい。

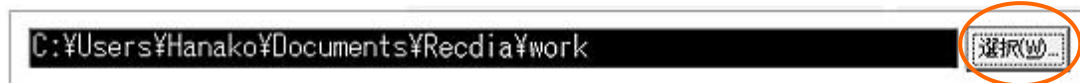
【4-2.録音ファイルの決定】

録音する Wave ファイルをどこに保存するか、また、どの Wave ファイルに録音するかを決定します。

(1) Wave ファイルの保存先フォルダの選択

(1)[選択]ボタンを押します。

フォルダ指定場所の初期値は、「マイ ドキュメント」>「Recdia」>「work」フォルダです。

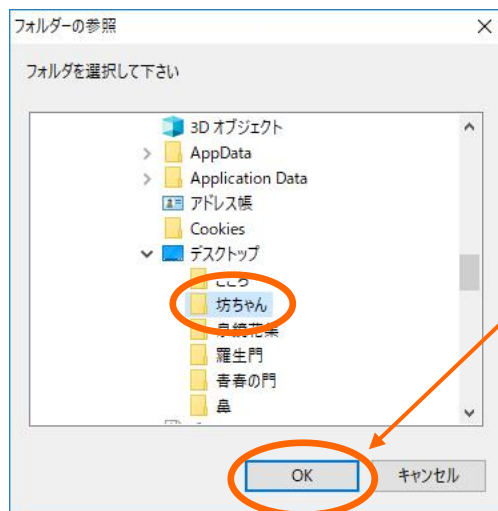


※Recdia 1.0.9 までのフォルダ指定場所の初期値は、「Program Files」>「Recdia」>「work」フォルダです。

C:\Program Files(x86)\Recdia\work

(2)フォルダの参照画面が表示されます。

作業したいフォルダを選択して、[OK]ボタンを押して下さい。



例) Wave ファイルを、デスクトップ上のフォルダ「坊っちゃん」に作成する場合、フォルダ参照画面で、左図のようにフォルダを選択してから[OK]ボタンを押します。

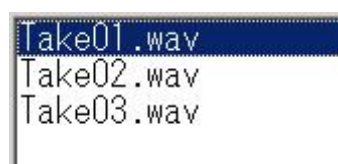
注)「Recdia」ではフォルダの作成はできません。保存したいフォルダをあらかじめ作成しておく必要があります。

(3)指定したフォルダが表示されました。



※Hanako というユーザー名でパソコンにサインイン(ログイン)しています。

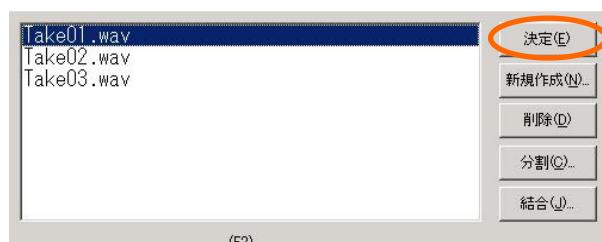
(4)選択したフォルダの中に前回保存した Wave ファイルがある場合には、ファイルリストに Wave ファイル名が表示されます。



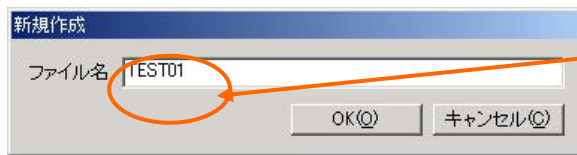
(2) Wave ファイルの決定

1) 新しいファイルで録音する場合は[新規作成]ボタンを押して下さい。

(既存のファイルに続きを録音する場合は3)へ)



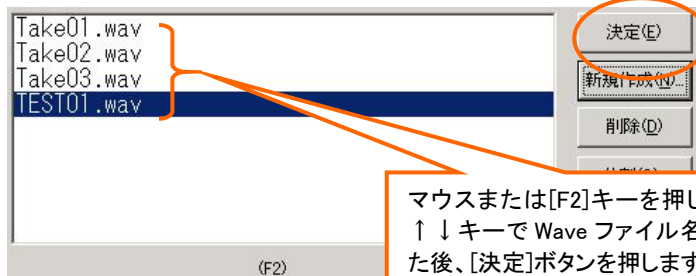
2) 新規作成ウィンドウが表示されるので、ファイル名を入力します。



ウィンドウが開かれると、自動的に「Take01」という名前が入っています。必要に応じて名前を変更して下さい。（例としてここでは「TEST01」という名前に変更しました。）
入力したら[OK]ボタンを押して下さい。

※新規作成したファイルは自動的に決定されるので4)へ

3) 録音したい Wave ファイル名を選択して[決定]ボタンを押して下さい。



4) 決定するとファイル名が表示されます。



ここに選択したファイル名が表示されます。

【4-3.録音】

【4-3-1.新規で録音する場合】

(1) 新規作成したファイルを決定したら、[録音]ボタンを押して下さい。

（新規作成方法については【4-2. 録音ファイルの決定】を参照して下さい。）



(2) 録音一時停止状態になります。もう一度、[録音]ボタンを押して下さい。



ここに状態が表示されます。



(3) 録音が始まりますので、朗読を行って下さい。



(4)一時停止する場合は[一時停止]ボタン、停止する場合は[停止]ボタンを押して下さい。



【4-3-2.先頭から録音する場合】

既存の Wave ファイルを先頭から録音し直したい場合は、以下の方法で行います。

(ファイルの録音・停止の方法についての説明は省略します。

【4-3-1. 新規で録音する場合】を参照して下さい。)

- (1) 録音し直したい Wave ファイルを決定します。
- (2) ファイルの先頭に移動します。先頭へ移動するには[HEAD]ボタンを押して下さい。



- (3) 時間が「0:00:00」であることを確認して下さい。



- (4) [録音]ボタンを2回押して、録音を開始して下さい。

(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)



【4-3-3.途中から録音し直す場合】

既存の Wave ファイルを途中から録音し直したい場合は、以下の方法で行います。

(ファイルの録音・停止の方法についての説明は省略します。

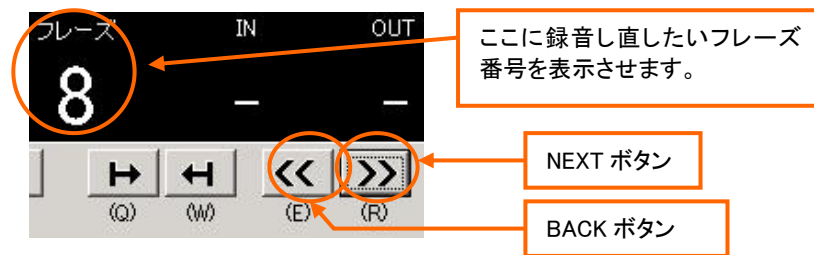
【4-3-1. 新規で録音する場合】を参照して下さい。)

- (1) 録音し直したい Wave ファイルを決定します。
- (2) 録音開始位置を設定します。設定方法は、方法1) フレーズ番号からの設定、または 方法2) 時間からの設定のどちらかの方法で行うことができます。

※方法1) フレーズ番号からの設定

(フレーズについての詳細は7. IN・OUT の操作、8. フレーズの移動を参照して下さい。)

- ① [BACK]、[NEXT]ボタンを使用して、録音を開始したいフレーズを表示させます。



②[IN]ボタンを押して録音開始フレーズを決定します。

([IN]ボタンの使用方法については【7-2-1. 指定したフレーズから停止するまで上書き録音する】を参照して下さい。)

※方法2) 時間からの設定

①[巻戻し]ボタン、[早送り]ボタンを使用して、録音を開始したい時間を表示させます。



②録音を開始したい時間が表示されていることを確認して下さい。



(3)[録音]ボタンを2回押して、録音を開始して下さい。

(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)



【4-3-4.再生している途中から録音する場合】

既存の Wave ファイルを再生している途中から録音し直したい場合は、以下の方法で行います。

(ファイルの録音・停止の方法についての説明は省略します。

【4-3-1. 新規で録音する場合】を参照して下さい。)

※ショートカットキーでの操作となります。

(1)録音し直したい Wave ファイルを決定します。

(2)再生を開始します。再生するには D キー([再生]ボタン)を押して下さい。



(3)録音を開始したいタイミングになりましたら、

D キー([再生]ボタン)を押しながら、F キー([録音]ボタン)を押して録音を開始して下さい。



【4-3-5.録音データの末尾に続きを録音する場合】

既存の Wave ファイルの末尾に続けて録音したい場合は、以下の方法で行います。

(ファイルの録音・停止の方法についての説明は省略します。

【4-3-1. 新規で録音する場合】を参照して下さい。)

(1)録音したい Wave ファイルを決定します。

(2)ファイルの末尾に移動します。

末尾へ移動するには[TAIL]ボタンを押して下さい。



(3)時間が総時間と同じであることを確認して下さい。



(4)[録音]ボタンを2回押して、録音を開始して下さい。

(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)



5. 再生する

5-1. 再生ファイルの決定..... 34

5-2. 再生..... 36

【5-1.再生ファイルの決定】

再生するファイルを決めます。

(1)再生したい Wave ファイルの保存先フォルダを選択

1)[選択]ボタンを押して下さい。

フォルダ指定場所の初期値は、「マイ ドキュメント」>「Recdia」>「work」フォルダです。

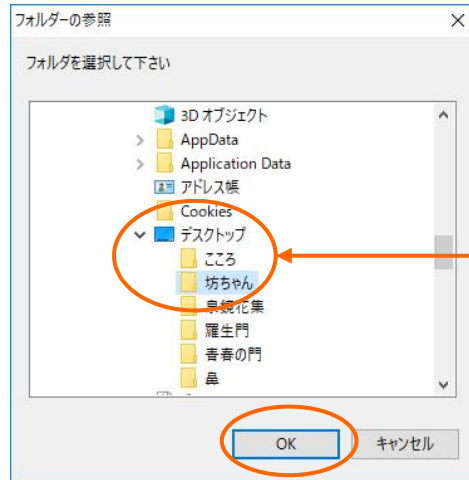


※Recdia 1.0.9 までのフォルダ指定場所の初期値は、「Program Files」>「Recdia」>「work」フォルダです。

C:\Program Files(x86)\Recdia\work

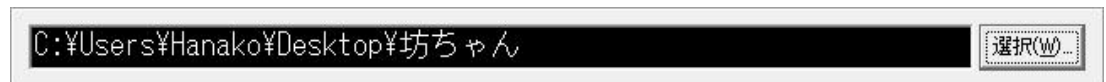
2) フォルダの参照画面が表示されます。

再生したい Wave ファイルのあるフォルダを選択して、[OK]ボタンを押して下さい。



例) デスクトップ上のフォルダ「坊ちゃん」に再生したい Wave ファイルがある場合、このように選択します。

3) 指定したフォルダが表示されました。



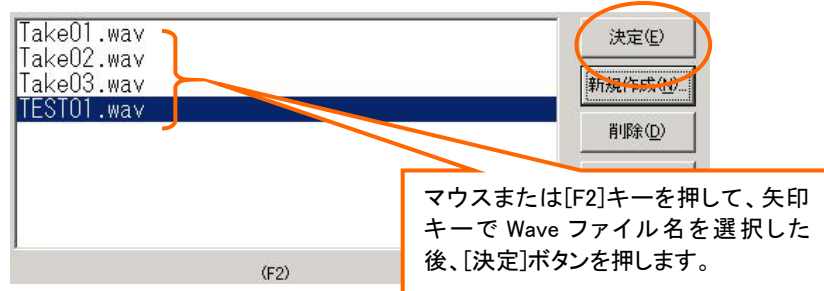
※Hanako というユーザー名でパソコンにサインイン(ログイン)しています。

4) 選択したフォルダの中に再生したい Wave ファイルがあるか確認します。



(2) Wave ファイルの決定

1) 再生したい Wave ファイル名を選択して[決定]ボタンを押して下さい。



2) 決定するとファイル名が表示されます。

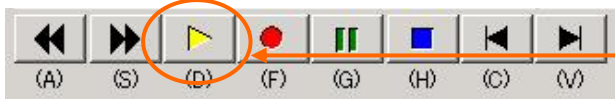


【5-2.再生】

【5-2-1.再生】

録音された Wave ファイルを再生します。

- (1) [再生]ボタンを押して下さい。



マウスでクリックするか、キーボードの[D]ボタンを押して下さい。

- (2) 再生が実行されると以下のような表示になります。



【5-2-2.再生の早送り・巻戻し】

Wave ファイルの巻戻し・早送りを行います。

- (1) [巻戻し]ボタンまたは[早送り]ボタンを押して下さい。



巻戻しボタン
マウスでクリックするか、キーボードの[A]ボタンを押して下さい。

早送りボタン
マウスでクリックするか、キーボードの[S]ボタンを押して下さい。

- (2) 巻戻しまたは早送りが実行されると以下のような表示になります。



※[巻戻し]ボタンまたは[早送り]ボタンを続けて複数回押すと、より早く作業することができます。

- (1 回押す: 10 倍速、2 回押す: 120 倍速、3 回押す: 600 倍速、4 回以上: 1~3 を繰り返し)



図①は[早送り]ボタンを 2 回続けて押した状態です。
図②は[早送り]ボタンを 3 回続けて押した状態です。

【5-2-3.頭出しと末尾移動】

頭出しと末尾移動を行います。頭出しは Wave ファイルの先頭に移動することができます。
末尾移動は Wave ファイルの末尾へ移動することができます。

(1) [HEAD]ボタンまたは[TAIL]ボタンを押して下さい。



HEAD ボタン
マウスでクリックするか、キーボードの[C]ボタンを押して下さい。

TAIL ボタン
マウスでクリックするか、キーボードの[V]ボタンを押して下さい。

(2) 頭出し、末尾移動が行われると以下のような表示になります。



(頭出し)



(末尾移動)

【5-2-4.再生の一時停止・再生再開】

再生中に一時的に停止したい時に使用します。

(1) 再生中に[一時停止]ボタンを押して下さい。



マウスでクリックするか、キーボードの[G]ボタンを押して下さい。

(2) 一時停止が実行されると以下のような表示になります。

もう一度[一時停止]ボタンを押すと再生は再開されます。



【5-2-5.再生の停止】

再生を停止する時に使用します。

(1) 再生中に[停止]ボタンを押して下さい。



マウスでクリックするか、キーボードの[H]ボタンを押して下さい。

(2) 停止が実行されると以下のような表示になります。



6. 各種設定

6-1. 音量設定	38
6-2. 設定の変更	39
6-3. 区切り設定の変更	40
6-4. 再生スピードの設定	41
6-5. 表示の切り替え	42

【6-1.音量設定】

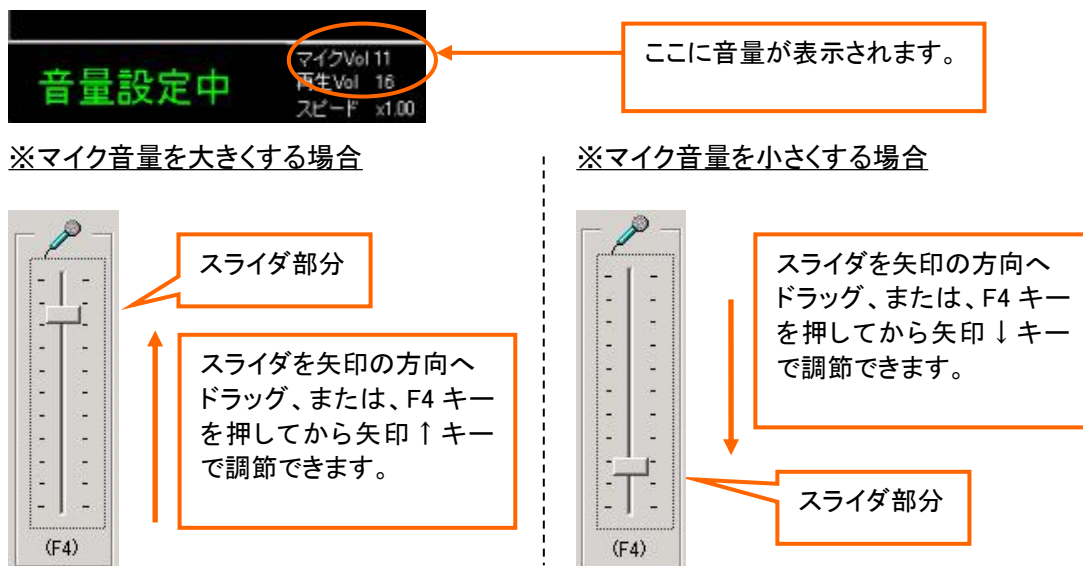
【6-1-1.マイク音量の調節】

マイク音量設定時に、マイクのボリュームを調節します。

(マイク音量設定については、【4-1.録音前の設定】(1)マイク音量設定を参照して下さい。)

※USB 音源に接続の場合、ここではボリュームを調節できない場合もあります。

- (1)音量レベルメーター(下段)に声の大きさが表示されるので、マイクのボリュームを調整して下さい。

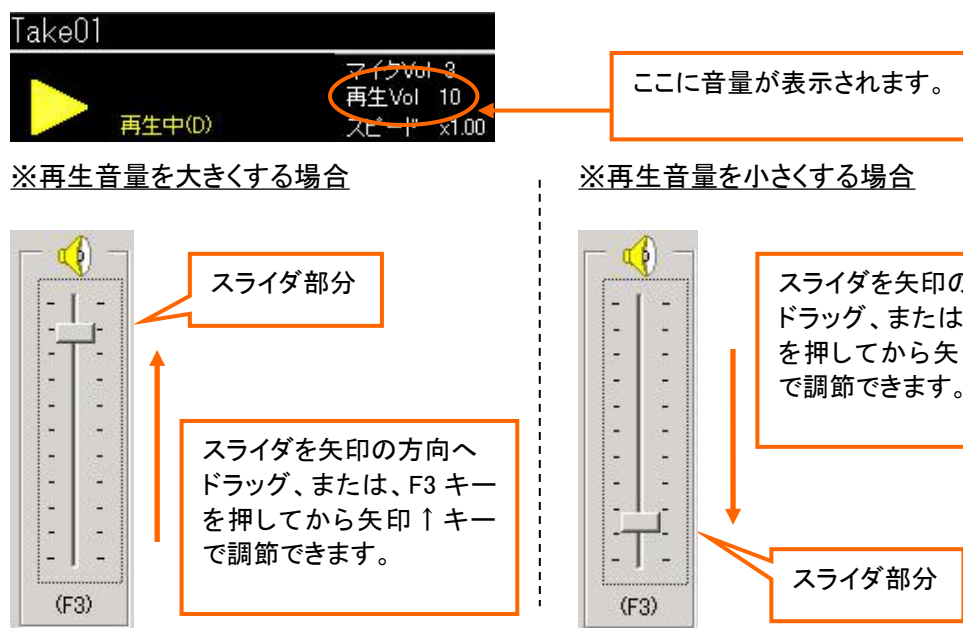


【6-1-2.再生音量の調節】

再生音量を調節する時に使用します。

※USB 音源に接続の場合、ここではボリュームを調節できない場合もあります。

- (1)音量レベルメーター(上段)に声の大きさが表示されるので、再生のボリュームを調整して下さい。



【6-2.設定の変更】

【6-2-1.録音設定の変更】

「録音する環境が変わった」「マイクを変えた」等、録音環境に変化があった場合などは、録音設定を変更する必要があります。

録音設定の方法は【4-1.録音前の設定】に記載しています。

注意！

マイク音量を変更するなど、マイク音量設定を再設定したあとは、必ず騒音測定・テスト録音を行って下さい。

【6-2-2.フィルタ設定】

Recdia は自動で音声を補正する機能を持っています。

その際、基準となる値をこのフィルタ設定で行います。録音環境に合わせてこの変更を行って下さい。

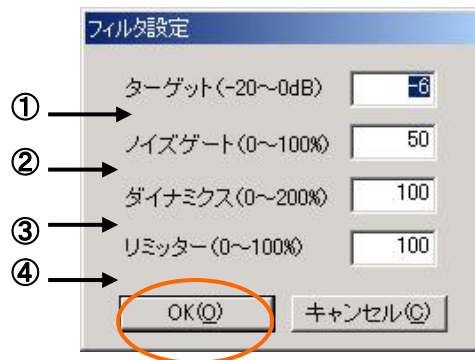
※ 通常は、録音設定を行うことで、Recdia の自動音声補正機能により最適な音圧に補正されます。

フィルタ設定を変更する必要はありません。

(1)メニューから[設定]を選択し、[フィルタ設定]をクリックします。



(2)以下の画面が表示されます。



この設定により、目標範囲（音声レベルメーター（下段）の白い部分）が設定されます。

①ターゲット

目標となる音圧を入力します。-20～0 までの値を設定できます。（初期値は-6dB です。）

②ノイズゲート

無音区間の音圧を減少させる機能です。0～100%の範囲で設定が可能です。（初期値は 50%です。）

0%の場合：原音のままになります。

100%の場合：無音区間が-96dB 付近になります。

③ダイナミクス

フレーズ内の最大音圧がターゲットで設定した値付近になるように増圧することができます。（初期値は 100%です。）

0%の場合：原音のままになります。

100%の場合：音圧がターゲット値付近になるように増圧します。

200%の場合：音圧がターゲット値以上になるように増圧します。

④リミッター

ターゲットで設定した値以上の音圧に対して減圧することができます。（初期値は 100%です。）

0%の場合：原音のままになります。

100%の場合：音圧がターゲット値付近になるように減圧します。

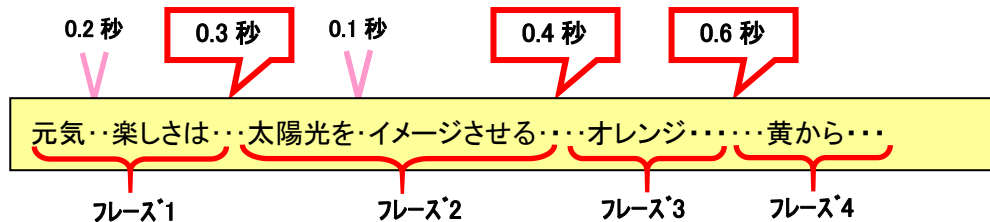
【6-3.区切り設定の変更】

- ・ 区切り設定を選択すると、0.2 秒～3秒までの数値が表示されます。
これが音声を区切る為の秒数になります。
(この区切りで区切られた音のかたまりをフレーズと言います。フレーズの詳細については [8. フレーズの移動](#)を参照して下さい。)
- ・ 数値が大きくなるほど、フレーズの区切りとして採用する無音部分の時間が長くなります。
- ・ 区切り設定は何度でも変更可能です。（ただし、録音中・再生中は区切り設定を行うことはできません。）

(1)メニューから[区切り設定]を選択し、設定したい秒数をクリックします。



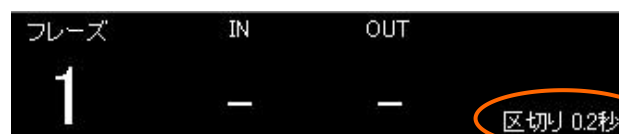
<< 0.3 秒単位でフレーズを区切った場合 >>



※ …は声が入っていない無音部分または息継ぎ部分です。

0.3 秒で設定したので 0.3 秒以上のものが区切られます。

※ 0.3 秒で決定した場合、四角で囲まれた部分がフレーズの区切りと判定され、上の例は4フレーズと認識されます。



現在の区切り設定はここに表示されています。

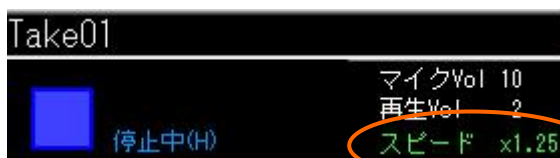
【6-4. 再生スピードの設定】

- ・ Wave ファイルの再生速度を設定します。
- ・ 0.75 倍～2.00 倍までのスピードを選択することができます。
- ・ 数値が大きくなるほど、再生スピードが速くなります。
- ・ 再生スピードは何度でも変更可能です。(再生中も変更可能)

(1)メニューから[再生スピード]を選択し、再生したいスピードをクリックします。



例えば、これをクリックして[再生]ボタンを押すと、1.25 倍の速さで再生を開始します。



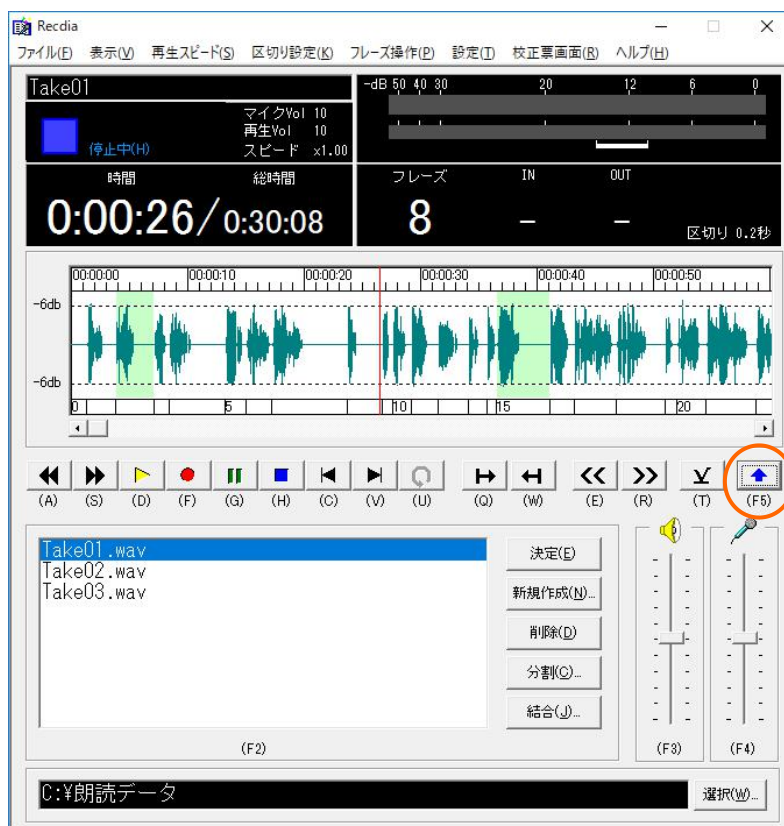
現在の再生スピードはここに表示されています。
(1 倍の場合は白、それ以外は緑色で表示されます。)

- ・ 0.75 倍～2.00 倍は音程を変えないで倍速再生することができます。
- ・ 倍速録音に対応しているカセットデッキの場合は、「x 2.00(ライン出力)」を使用してダビングすることもできます。

【6-5.表示の切り替え】

- ・表示切替ボタンを押すことによって、全体画面と縮小画面を切り替えることができます。

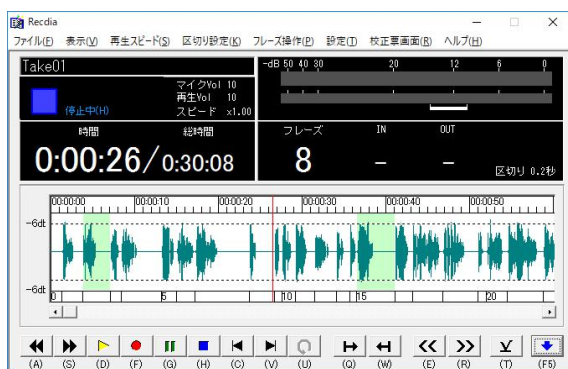
(1) Recdia 全体図



このボタンを押すと、縮小画面に切り替えられます。

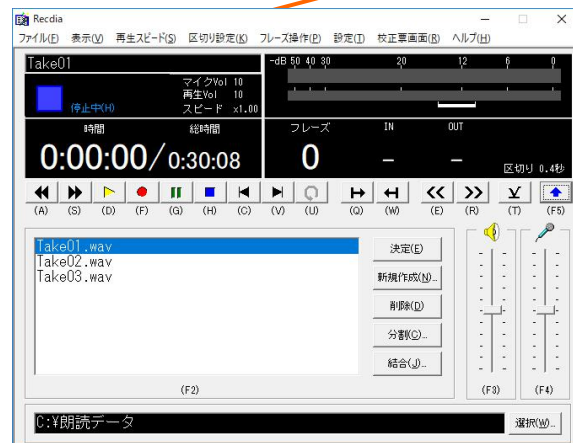
[表示]メニューの[音声波形表示]のチェックを外すことによって、音声波形を非表示にすることができます。

(2) Recdia 縮小画面



再びこのボタンを押すと、全体画面に切り替えられます。

(3) 音声波形 非表示画面



(4) Recdia 縮小 および 音声波形非表示画面



7. IN・OUT の操作

7-1. IN・OUT の考え方	43
7-2. IN ボタンを使った編集	45
7-3. OUT ボタンを使った編集	46
7-4. IN・OUT ボタンを組み合わせた編集	48
7-5. フレーズの挿入	49
7-6. フレーズ操作	50
7-7. フレーズ分割	51

【7-1.IN・OUT の考え方】

Recdia では[IN]ボタン・[OUT]ボタンを使用して、録音の修正作業を行うことができます。

(具体的なボタンの使い方については、7-2 以降を参照して下さい。)

(フレーズの説明については 8. フレーズの移動を参照して下さい。)

(1)IN



(ボタン)

修正を開始したいフレーズ番号を指定します。

例えば、修正したい朗読の最初のフレーズ番号を IN ボタンで指定します。
そして[録音]ボタンを2回押すと、指定した番号から上書きで修正録音することができます。([停止]ボタンで録音は停止します。)

(2)OUT



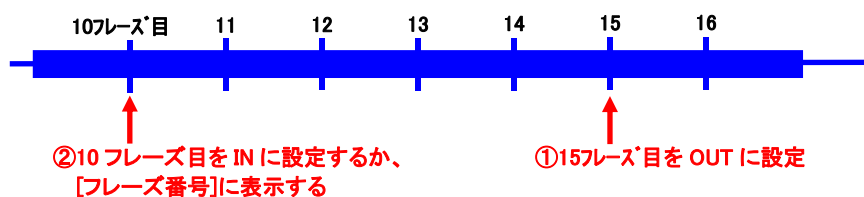
(ボタン)

修正を終了したいフレーズ位置を指定します。

録音を開始したい位置はフレーズ番号から設定する方法(例1)と、時間から設定する方法(例2)があります。

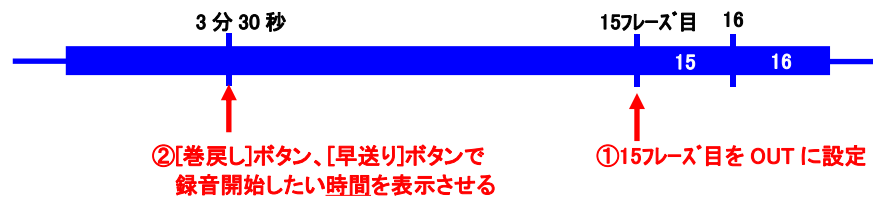
(例1) 10フレーズ目から14フレーズ目までを修正録音したいとします。

その場合、OUT を15フレーズ目に設定後、[BACK]ボタンで修正を開始したいフレーズに戻ります。



(例2) 時間が 3 分 30 秒のところから14フレーズ目までを修正したいとします。

その場合、OUT を15フレーズ目に設定後、[巻戻し]ボタンで修正を開始したい時間まで戻ります。

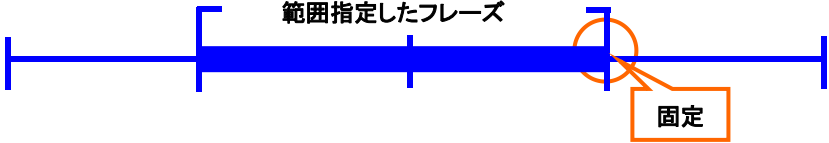
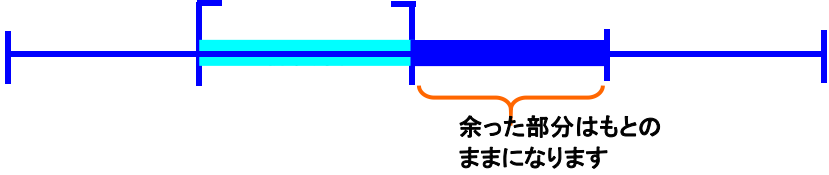


(例1)または(例2)の設定ができてから[録音]ボタンを2回押すと、録音開始フレーズ(または録音開始時間)から14フレーズ目の終わりまでを修正して録音することができます。

[OUT]ボタンは使用方法によって修正内容が変わります。

- ・[OUT]ボタンを2回押す → OUT(終了位置)を固定 (方法1を参照して下さい)
- ・[OUT]ボタンを1回押す → OUT(終了位置)を固定しない (方法2を参照して下さい)

※方法1) OUT(終了位置)を固定した場合

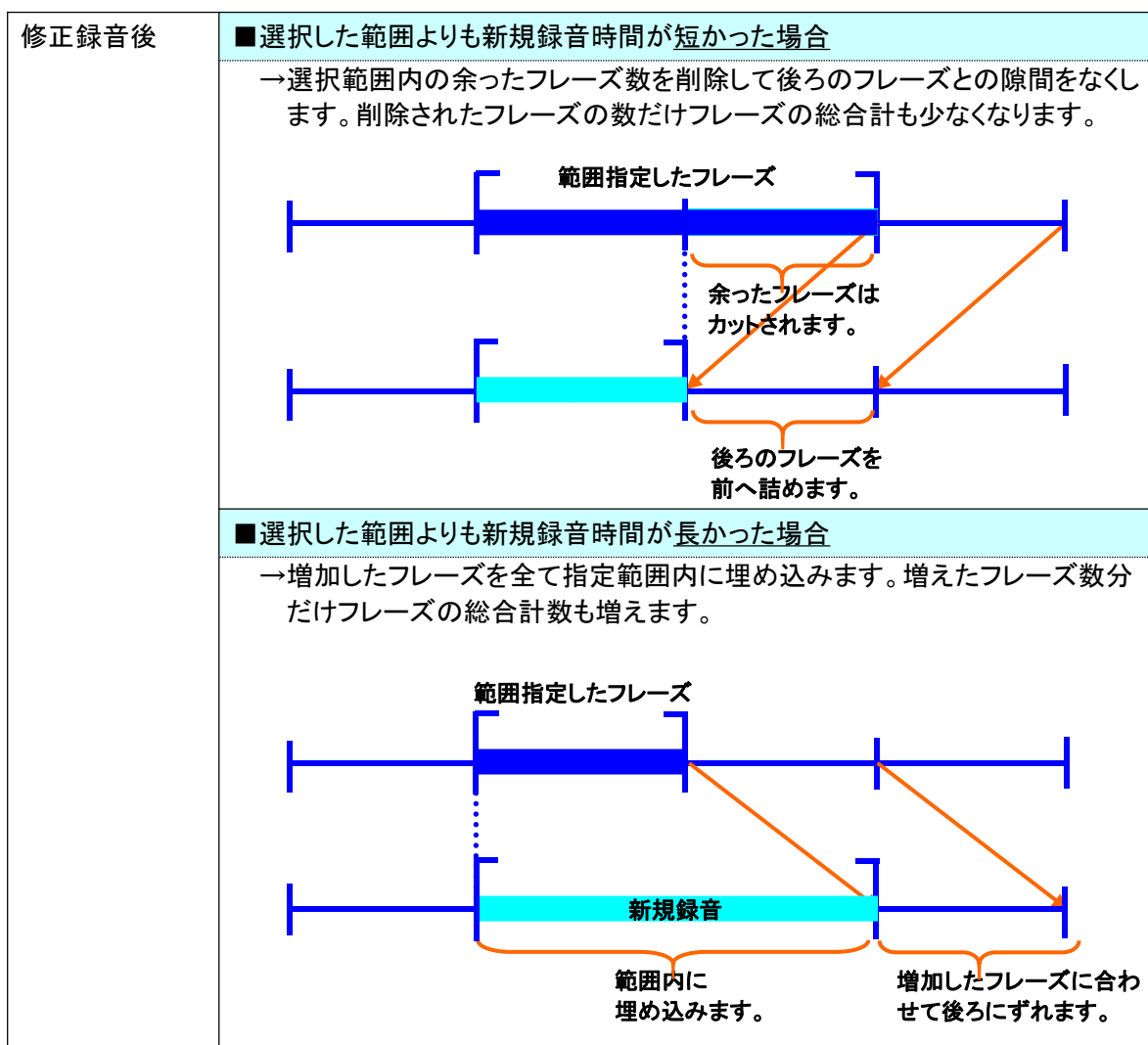
修正録音前	IN から OUT、または現在位置のフレーズから OUT までを固定した状態です。 
修正録音後	■ 選択した範囲よりも新規録音時間が短かった場合 → 新規録音された部分は上書きされ、範囲内の残りの時間は元のデータのままになります。 

注意！

- ・録音時間がOUT(終了位置)に達すると自動的に録音を停止します。
OUT(終了位置)を超えて録音することは出来ません。

※方法2) OUT(終了位置)を固定しない場合

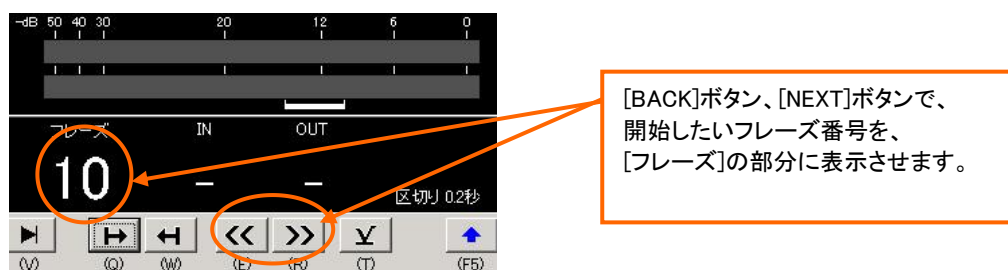
修正録音前	INからOUT、または現在位置のフレーズからOUTまでを固定しない状態です。 
-------	--



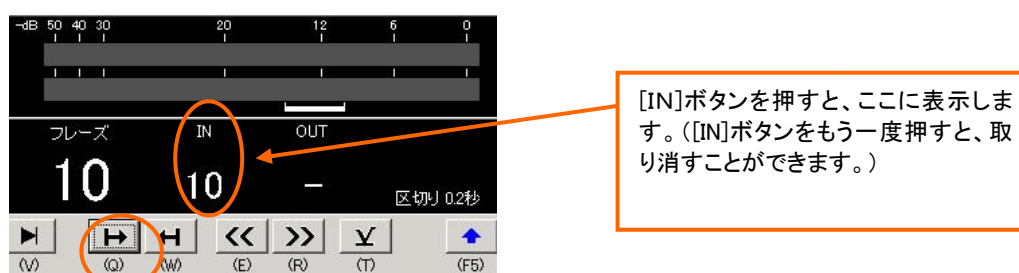
【7-2. IN ボタンを使った編集】

【7-2-1. 指定したフレーズから停止するまで上書き録音する】

(1) 上書きを開始したいフレーズ番号を[フレーズ番号]に表示させます。



(2) フレーズ番号を表示できたら[IN]ボタンを押します。



(3) [録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)



[録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。

録音を開始すると5秒前のフレーズから再生され、編集開始の3秒前から「ピッ(3秒前)、ピッ(2秒前)、ピッ(1秒前)」と合図が鳴り、「ゼロ」のタイミング(合図音なし)で録音が始まります。

(4) [停止]ボタンを押して、録音を終了します。

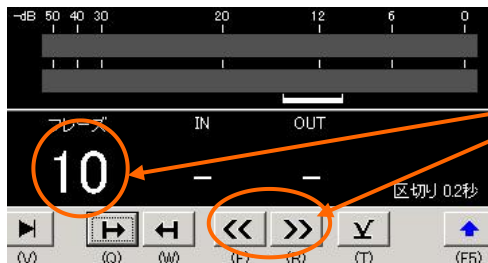


Wave ファイルが更新され、[IN]ボタンで指定したフレーズから[停止]ボタンを押した位置のフレーズまでが上書きされます。

【7-3. OUT ボタンを使った編集】

【7-3-1.現在位置から指定したフレーズまでを上書きする】

(1) 終了したいフレーズの次の番号を[フレーズ番号]に表示させます。



[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、終了したいフレーズ番号を、[フレーズ]の部分に表示させます。

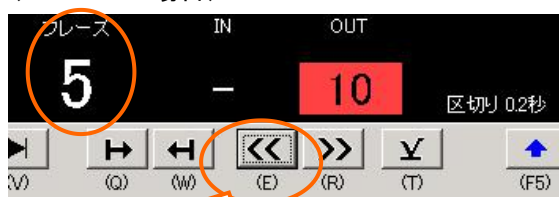
(2) フレーズ番号を表示できたら[OUT]ボタンを2回押します。



[OUT]ボタンを2回押すと、ここに赤く表示します。
([OUT]ボタンをもう一度押すと、取り消すことができます。)

(3) 録音を開始したい位置(フレーズまたは時間)まで戻ります。

(フレーズの場合)



開始したいフレーズを設定したい場合は[BACK]ボタンで戻り、[フレーズ番号]に表示させる

(時間の場合)



開始したい時間を設定したい場合は[巻戻し]ボタンで戻り、[時間]に表示させる

(4) [録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)

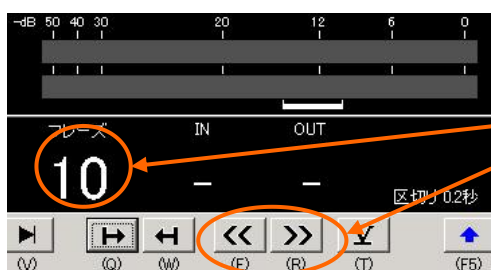


準備ができたなら[録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。

終了位置になると録音は自動的に停止され、終了位置を固定したフレーズ番号の一つ前のフレーズまでが上書きされます。(上の例では、5フレーズ目～9フレーズ目まで上書きされます。)

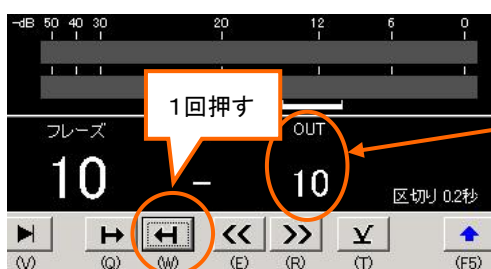
【7-3-2.現在位置から指定したフレーズまでを置き換えて上書きする】

(1) 置き換えを終了したいフレーズの次の番号を[フレーズ番号]に表示させます。



[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、終了したいフレーズ番号を、[フレーズ]の部分に表示させます。

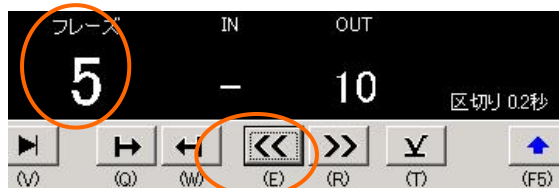
(2) フレーズ番号を表示できたら[OUT]ボタンを1回押します。



[OUT]ボタンを1回押すと、ここに表示します。([OUT]ボタンを後2回押すと、取り消すことができます。)

(3) 録音を開始したい位置(フレーズまたは時間)まで戻ります。

(フレーズの場合)



開始したいフレーズを設定したい場合は[BACK]ボタンで戻り、[フレーズ番号]に表示させる

(時間の場合)



開始したい時間を設定したい場合は[巻戻し]ボタンで戻り、[時間]に表示させる

(4) [録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)



準備ができたなら[録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。

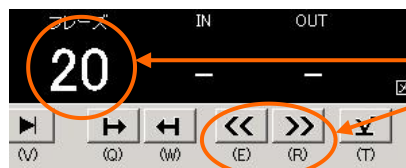
(5) [停止]ボタンを押して、録音を終了します。



【7-4. IN・OUT ボタンを組み合わせた編集】

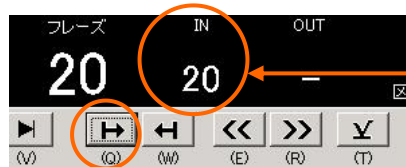
【7-4-1. 指定したフレーズの範囲内で上書き録音する】

(1) 上書きを開始したいフレーズ番号を[フレーズ番号]に表示させます。



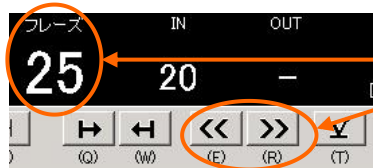
[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、開始したいフレーズ番号を、[フレーズ]の部分に表示させます。

(2) フレーズ番号を表示できたら[IN]ボタンを押します。



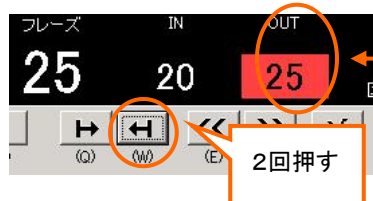
[IN]ボタンを押すと、ここに表示します。([IN] ボタンをもう一度押すと、取り消すことができます。)

(3) 終了したいフレーズの次の番号を[フレーズ番号]に表示させます。



[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、終了したいフレーズ番号を、[フレーズ]の部分に表示させます。

(4) フレーズ番号を表示できたら[OUT]ボタンを2回押します。



[OUT]ボタンを2回押すと、ここに赤く表示します。([OUT] ボタンをもう一度押すと、取り消すことができます。)

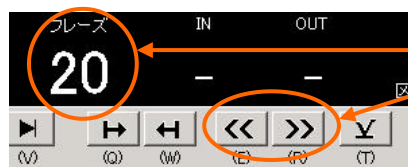
(5) [録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。(1 回押すと一時停止、2 回押すと録音開始)



[録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。
5 秒前のフレーズから再生され、編集開始の 3 秒前から「ピッ(3 秒前)、ピッ(2 秒前)、ピッ(1 秒前)」と合図が鳴り、「ゼロ」のタイミング(合図音なし)で録音が始まります。終了位置になると録音は自動的に停止します。

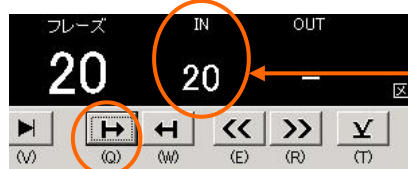
【7-4-2. 指定したフレーズの範囲内を置き換えて録音する】

(1) 置き換えを開始したいフレーズ番号を[フレーズ番号]に表示させます。



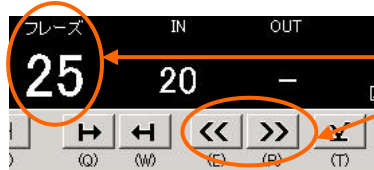
[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、
開始したいフレーズ番号を、
[フレーズ]の部分に表示させます。

(2) フレーズ番号を表示できたら[IN]ボタンを押します。



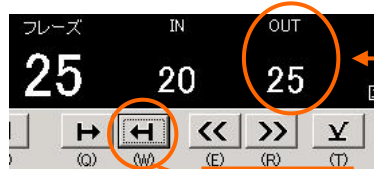
[IN]ボタンを押すと、ここに表示し
ます。([IN]ボタンをもう一度押すと、取
り消すことができます。)

(3) 終了したいフレーズの次の番号を[フレーズ番号]に表示させます。



[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、
終了したいフレーズ番号を、
[フレーズ]の部分に表示させます。

(4) フレーズ番号を表示できたら[OUT]ボタンを1回押します。



[OUT]ボタンを1回押すと、ここに
表示します。([OUT]ボタンを後2回
押すと、取り消すことができます。)

1回押す

(5) [録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。(1回押すと一時停止、2回押すと録音開始)

録音を終了したいところで[停止]ボタンを押します。



[録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。
5秒前のフレーズから再生され、編集開始の3秒前から「ピ
ッ(3秒前)、ピッ(2秒前)、ピッ(1秒前)」と合図が鳴り、「ゼ
ロ」のタイミング(合図音なし)で録音が始まります。

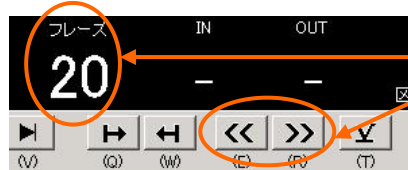
終了したい位置で[停止]ボタンを押します。

【7-5. フレーズの挿入】

フレーズとフレーズとの間に音声データを挿入することができます。

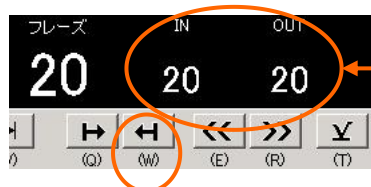
挿入したいデータは指定したフレーズの前に挿入されます。

(1) フレーズを挿入したい場所の次のフレーズ番号を[フレーズ番号]に表示させます。



[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで、
開始したいフレーズ番号を、
[フレーズ]の部分に表示させます。

(2) フレーズ番号を表示できたら、[IN]ボタンと[OUT]ボタンを押します。



この例では20フレーズ目を IN と OUT に指定しているので、19フレーズ目と20フレーズ目の間に挿入されることになります。

(3) [録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。(1回押すと一時停止、2回押すと録音開始)

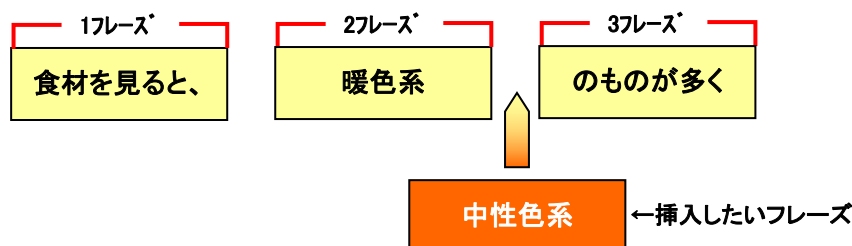
録音を終了したいところで[停止]ボタンを押します。



[録音]ボタンを2回押すと、録音を開始します。
5秒前のフレーズから再生され、編集開始の3秒前から「ピッ(3秒前)、ピッ(2秒前)、ピッ(1秒前)」と合図が鳴り、「ゼロ」のタイミング(合図音なし)で録音が始まります。

終了したい位置で[停止]ボタンを押します。

<< フレーズ挿入のイメージ >>



2フレーズ目と3フレーズ目の間に挿入したい場合、3フレーズ目を IN と OUT に設定します。

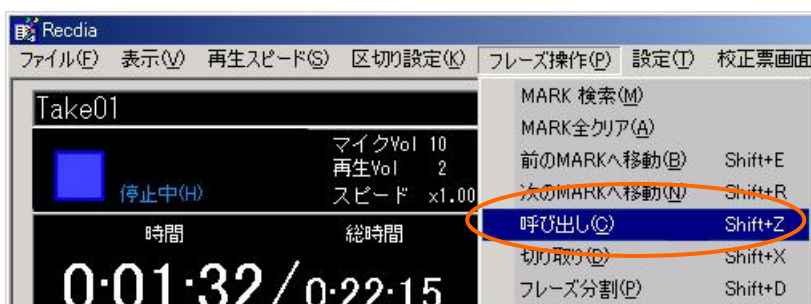
【7-6. フレーズ操作】

【7-6-1. フレーズの呼び出し】

前回設定したIN・OUT設定を呼び出すことができます。

(例えば、一度 IN と OUT を設定して修正録音したとします。その際、修正録音がうまくできず、もう一度同じ箇所を修正したい時に、この機能を使って呼び出すとすぐに同じ箇所を修正することができます。)

(1) [フレーズ操作]メニューから[呼び出し]をクリックします。



【7-6-2.フレーズの切り取り】

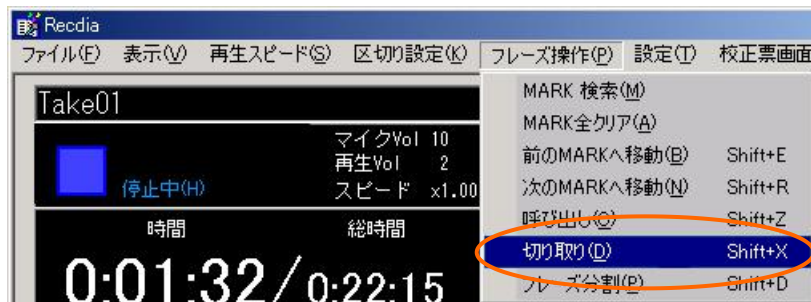
IN と OUT を設定して、フレーズを切り取ることができます。

- (1) 切り取りたいフレーズを[IN] ボタンと[OUT]ボタンで指定します。

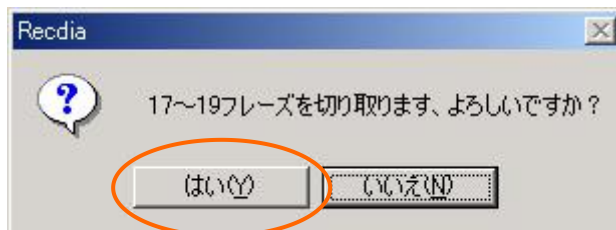


この場合、17フレーズ目から
19フレーズ目までを切り取ります。

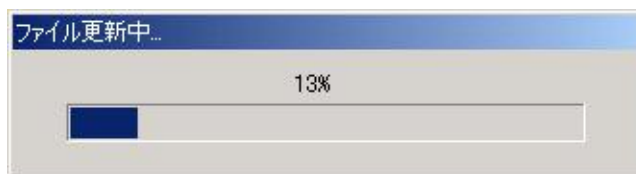
- (2) [フレーズ操作]メニューから[切り取り]をクリックします。



- (3) 確認画面が表示されます。



- (4) (3)で「はい」を選択するとフレーズの切り取りを開始します。



【7-7. フレーズ分割】

任意の場所でフレーズを分割させることができます。

例えば、不必要な「間」を削除したい場合など、無音部分を編集する場合に主に使用します。

この機能は、次の場合に使用することができます。

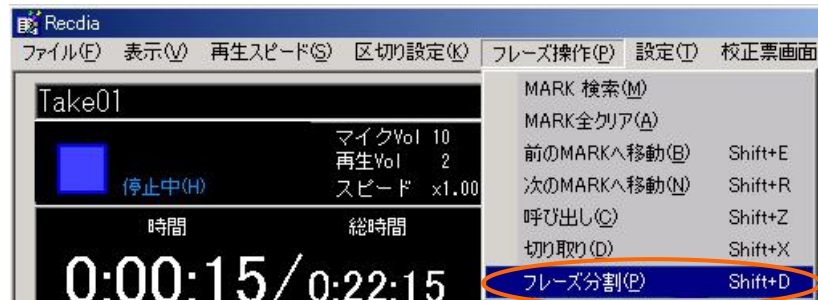
- ・ファイルが決定されていること。
- ・ファイルに何か録音がされていること。
- ・現在位置が、ファイルの先頭または末尾のどちらでもない場所にあること。
- ・停止中であること。

(1) 分割したい場所まで再生し、停止させます。

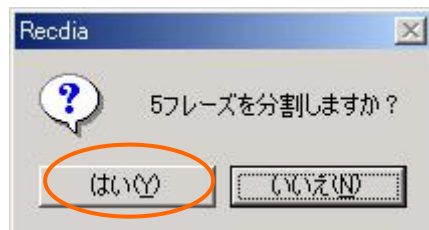


この場合、5フレーズの中身を15秒を境に前後に分割します。

(2) [フレーズ操作]メニューから[フレーズ分割]をクリックします。



(3) 確認画面が表示されます。



(4) (3)で「はい」を選択するとフレーズが分割されます。

注意！

フレーズの先頭ではフレーズ分割は行えません。

8. フレーズの移動

8-1. BACK・NEXT ボタンによるフレーズ移動…………… 52

8-2. フレーズの記憶…………… 53

【8-1. BACK・NEXT ボタンによるフレーズ移動】

◆ フレーズとは

フレーズとはある一定の長さで区切られた音声のかたまりのことをいいます。
区切り時間の設定によって、音声のかたまりの数が増えたり減ったりします。
(区切り時間の設定については【6-3.区切り設定の変更】を参照して下さい。)

[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンを使ってフレーズの移動を行います。



[BACK]ボタン



現在表示されているフレーズから前のフレーズへ戻ります。
ショートカットキーでは E を押します。

[NEXT]ボタン



現在表示されているフレーズから次のフレーズへ進みます。
ショートカットキーでは R を押します。

※[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンの移動間隔は、1 回押すごとに1フレーズ移動します。

※[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンは停止中のみ使用できます。

【8-2. フレーズの記憶】

【8-2-1.MARK ボタンの使い方】

Recdia では、MARK ボタンを使ってフレーズを記憶することができます。

◆ MARK ボタンとは

[MARK]ボタンとは本を読むときに使う「しおり」のようなものです。

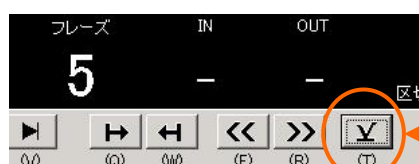
フレーズに[MARK]ボタンでチェックをつけておくと、MARK したフレーズだけ[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで前後移動することができます。

例えば、各章毎の単位で印をつけておけば、編集・再生での頭だしが素早く行えます。

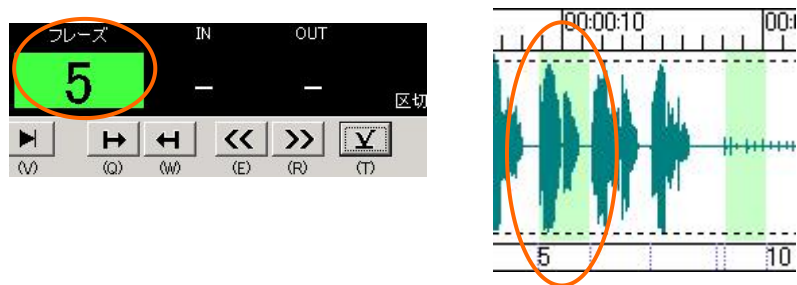
(1) MARK をつけたいフレーズを表示させます。



(2) [MARK]ボタンを押します。



(3) MARK したフレーズ番号と、音声波形表示が緑色に変わります。



※MARK を解除するには、解除したいフレーズ番号を表示させてから[MARK]ボタンをもう一度押して下さい。（全ての MARK を一度に解除する場合には、【8-2-3. MARK の解除】を参照して下さい。）

※[BACK]、[NEXT]ボタンで MARK したいフレーズを表示させる以外にも、再生中または録音中に、MARK したいフレーズ番号が表示されたタイミングで[MARK]ボタンを押すことも可能です。

【8-2-2.MARK チェックを使ったフレーズ移動】

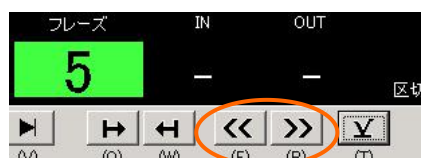
[MARK]ボタンでチェックをつけておくと、MARK したフレーズだけ[BACK]ボタン、[NEXT]ボタンで前後移動することができます。

MARK チェックを使ったフレーズ移動には二つの方法があります。

※方法1)

MARK チェックを使ったフレーズの前後移動と、通常のフレーズの前後移動を併用する方法です。

(1) MARK チェックした箇所のみフレーズの前後移動したい場合は、Shift キーを押しながらキーボードのE(BACK)またはキーボードのR(NEXT)を押します。



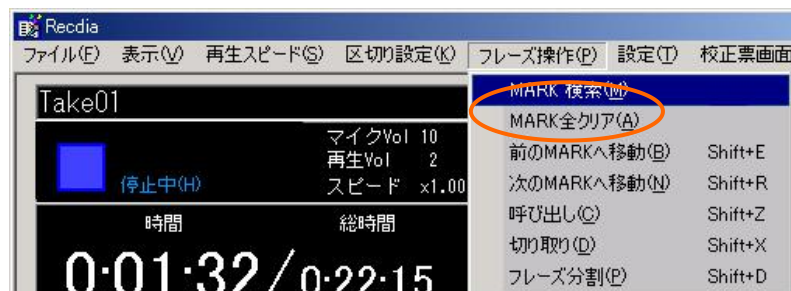
※Shift キーを押さずに[BACK]ボタンまたは[NEXT]ボタンを押すと、MARK を意識することなく通常通りのフレーズの移動が行えます。

※方法2)

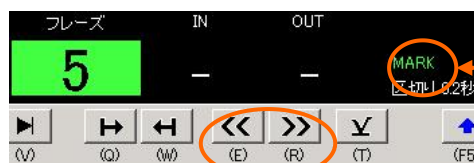
MARK チェックをつけたフレーズのみフレーズの前後移動を行う方法です。

(この場合、通常のフレーズの前後移動を行うことはできません。)

(1)[フレーズ操作]メニューから[MARK 検索]をクリックします。



(2)[MARK 検索]をクリックした後、[BACK]ボタンまたは[NEXT]ボタンを押すと、MARK チェックされたフレーズのみ前後移動します。



MARK 検索が設定されている場合、ここに「MARK」と表示されます。

※MARK 検索を解除したい場合は、もう一度[フレーズ操作]メニューから[MARK 検索]をクリックします。

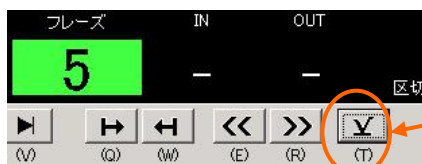
(全ての MARK を一度に解除する場合には、【8-2-3. MARK の解除】を参照して下さい。)

【8-2-3.MARK の解除】

[MARK]ボタンでつけたチェックを解除するには、MARK を一つずつ解除していく方法と、選択したファイルの全ての MARK を一度に解除する方法があります。

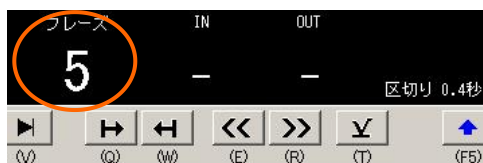
※方法1)MARK の個別クリア

(1)MARK チェックした箇所を表示させ、[MARK]ボタンを押します。



このボタンを押します。

(2)MARK チェックを解除すると、色が変わります。



※方法2)MARK の全クリア

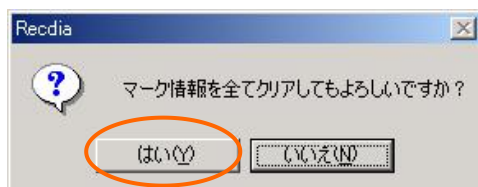
選択中の全ての MARK チェックを一度に解除する方法です。

(1)[フレーズ操作]メニューから[MARK 全クリア]をクリックします。



(2)確認画面が表示されます。

「はい」を選択すると全ての MARK が解除されます。



9. UNDO(元に戻す)の操作

9-1. 録音・修正録音・切り取りの取り消し…………… 56

【9-1. 録音・修正録音・切り取りの取り消し】

UNDO(アンドウ)機能は、音声データを更新したあとに、更新の取り消しができます。

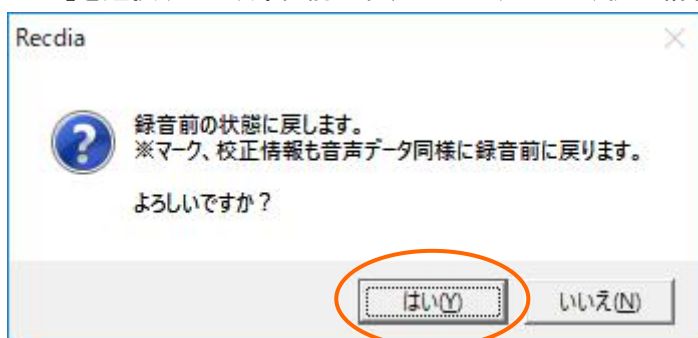
(1)録音または修正録音を行い停止したあとに、UNDO ボタンをクリックします。

同様に、IN,OUT を指定して[切り取り]操作を行ったあとに、UNDO ボタンをクリックします。



(2)確認画面が表示されます。

「はい」を選択すると、録音前の音声データ、マーク、校正情報に戻ります。



注意！

- ・ UNDO の取り消し(REDO)はできません。
- ・ UNDO により wave, prof, mrk ファイルが元に戻ります。

Recdia の設定値には影響しません。

そのため、UNDOの前後でRecdiaの設定値が変わると、UNDOしてもデータが戻っていないように感じられることがあります。

例) 当初、[区切り設定]は 0.4 秒に設定、フレーズ総数は 123 だった。

録音を行ったあと、[区切り設定]を 0.2 秒に変更した。

UNDO を行い元に戻した。ところがフレーズ総数は 123 ではなく 141 になっていた…
といった現象。

(この場合、[区切り設定]を 0.4 秒に変更すればフレーズ総数も戻ります)

10. 校正票について

10-1. 校正票の作成..... 57

【10-1. 校正票の作成】

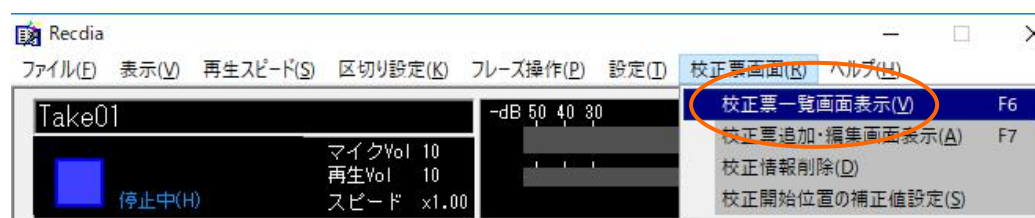
Recdia の画面から校正票を呼び出し、作成することができます。

実際の校正票の記入方法については、別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。

※再生中に校正票を呼び出した場合、再生は自動的に一時停止状態になります。

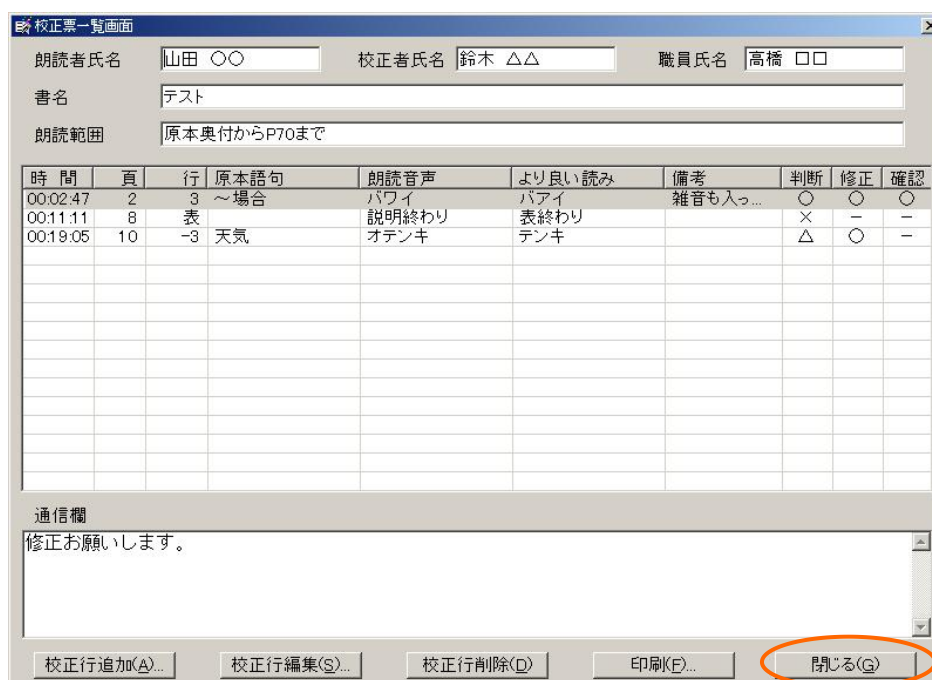
(1) 校正票一覧画面表示

①メニューから[校正票画面]を選択し、[校正票一覧画面表示]をクリックします。



②現在選択しているファイルに対する校正票一覧が表示されます。

終了する場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。

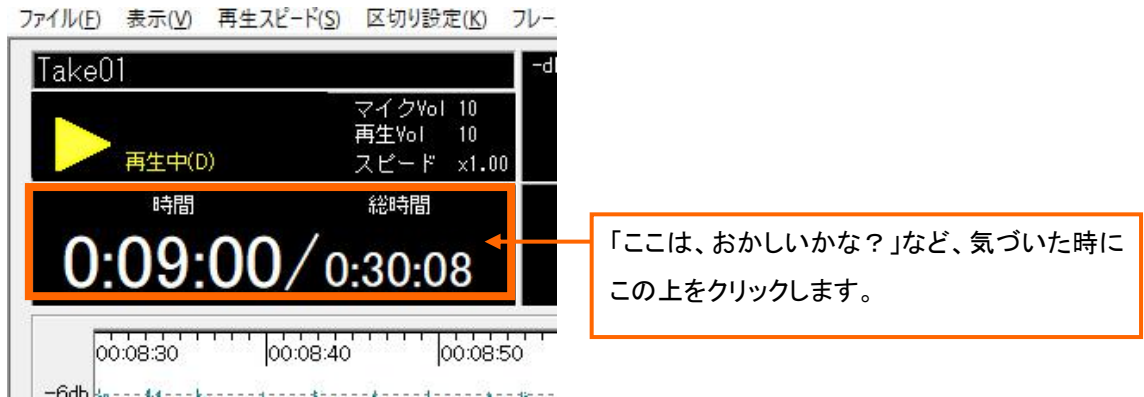


(2) 校正票追加・編集画面表示

校正票追加・編集画面を表示するには、方法が2つあります。

方法1) 時間から表示させる

- ①Wave ファイルを再生中、校正票に追加したい箇所があったとき、時間または総時間エリアをクリックします。



- ②校正票追加画面が表示されます。

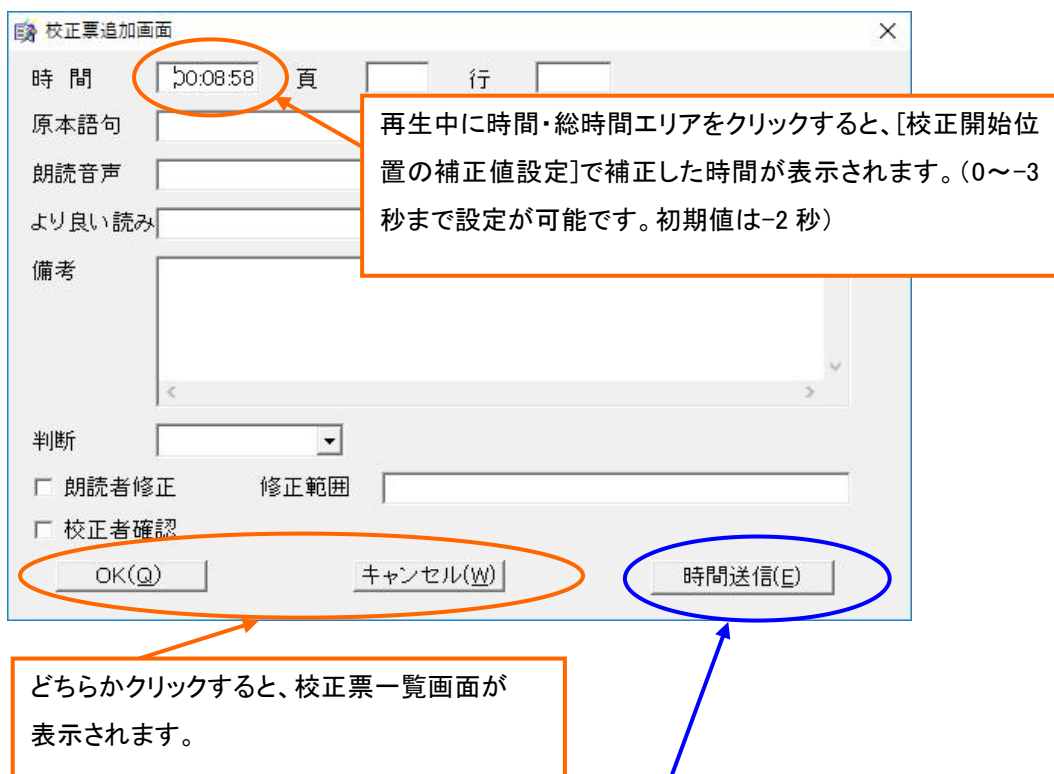
※校正票追加画面の時間欄には、Recdia で表示されている時間に対し、[校正開始位置の補正值設定]で補正した時間が表示されます。

(停止中にクリックした場合は補正されません。)

編集後、[OK]ボタンをクリックすると、[校正票一覧画面]に情報が追加されます。

([キャンセル]ボタンをクリックすると情報は追加されず、[校正票一覧画面]が表示されます。)

終了する場合は、[校正票一覧画面]の [閉じる]ボタンをクリックします。



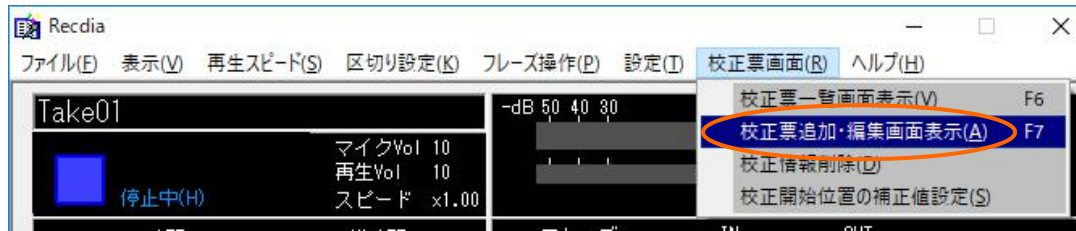
※[時間送信]ボタンの使い方

[校正票追加画面]を表示して[時間送信]ボタンをクリックすると、Recdia の時間に [校正票追加画面]の時間が設定され、直ちに該当箇所を再生することが出来ます。

②の例の場合、00:08:58 が Recdia に表示されます。

方法2)メニューから表示させる

①メニューから[校正票画面]を選択し、[校正票追加・編集画面表示]をクリックします。

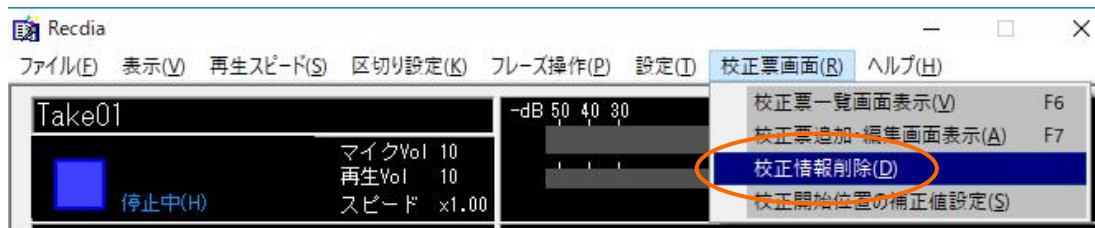


②以降は、方法1)と同じです。

(3)校正情報削除

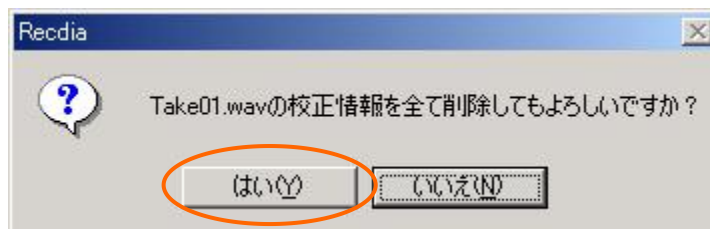
作成した校正票を削除することができます。

①メニューから[校正票画面]を選択し、[校正情報削除]をクリックします。



②以下の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

(「いいえ」をクリックすると、校正票は削除されません。)



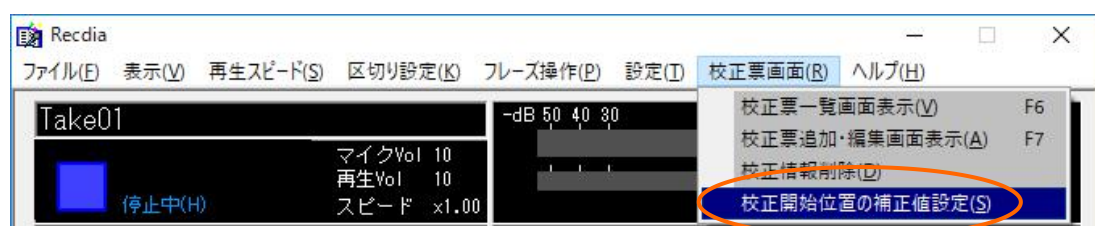
(4)校正開始位置の補正值設定

[校正開始位置の補正值設定]は、校正時に、校正箇所気付いてから 時間・総時間エリア をクリックして校正票追加画面を開くまでの若干のタイムラグ(校正開始位置のズレ)を補正します。

初期値は－2秒で、－3秒～0秒(補正無し)まで、0.1秒単位で補正值を変更できます。

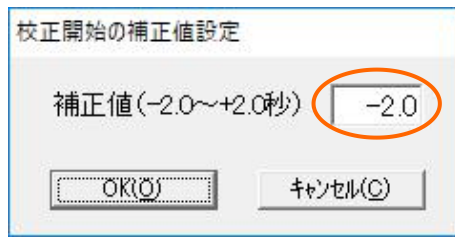
※補正したくない場合は0秒に変更してください。

①メニューから[校正票画面]を選択し、[校正開始位置の補正值設定]をクリックします。

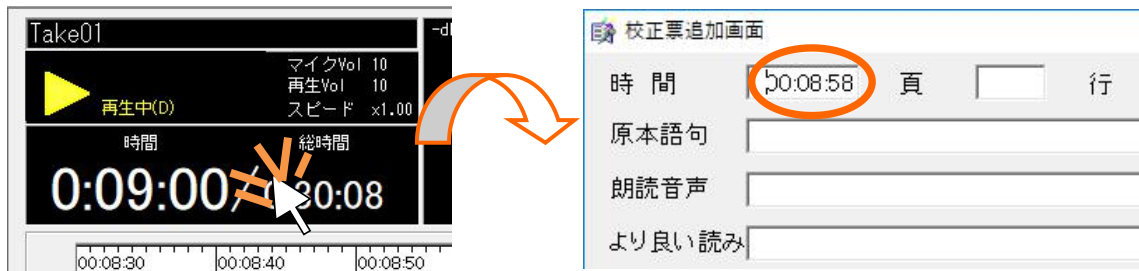


②以下の画面が表示されたら補正値を変更し、「はい」をクリックします。

(「キャンセル」をクリックすると、補正値は変わりません。)



例えば-2秒で設定している場合、9:00に[時間または総時間]枠内をクリックすると、8:58に補正された校正票追加画面が開きます。



11. Recdia を終了する

11-1. Recdia を終了するには…………… 60

【11-1. Recdia を終了するには】

Recdia を終了させます。

※方法1)

(1)メニューから[Recdia]の終了をクリックします。



※方法2)

(1)ウィンドウのクローズボタンをクリックします。



ここを押して下さい。
(Recdia の画面右上にある
×マークです。)

12. よくある質問と答え

12-1. ファイル	61
12-2. 再生しても音が聞こえません	62
12-3. 録音編集	62
12-4. フレーズ操作	62
12-5. 設定	63
12-6. エラーメッセージ	63
12-7. その他	67

【12-1. ファイル】

1. ファイル・フォルダとはなんですか？

ファイル……パソコンのプログラムやデータのの一つ一つのこと。
フォルダ……パソコンにデータを保存する時に、関係するものをしまっておく場所のこと。
関連 TOPIX ⇒ 【3-1.フォルダの選択】 【3-2.ファイルの新規作成】

2. ファイルを分割するのはどんな場合にしますか？

音声ファイルの容量が大きくなったときに分割します

例えば45分以内で収めたいWaveファイルなのに、実際の録音したファイルの総時間数が45分よりもオーバーしてしまったというWaveファイルがあるとして。この時、ファイルの分割機能を使えば、オーバーした時間分のファイルを消去せずにデータを収めることができます。
関連 TOPIX ⇒ 【3-5.ファイルの分割】

3. フォルダ選択時に読取専用と表示されました

再生することは可能なファイルですが編集することは出来ません。

フォルダ選択時に「選択したフォルダは読取専用です。書き込み可能に変更しますか？」というウィンドウが表示されます。このとき「はい」「いいえ」のボタンをそれぞれ押すと下記のようになります。

はい フォルダの読取専用を解除させます。
但しフォルダ内に読取専用ファイルが入っていた場合はそのファイルは読取解除できません。
※解除出来なかった場合は、「いいえ」と同じ動作になります。

いいえ フォルダの読取専用を解除させません。
編集作業を行うことが出来ません。

関連 TOPIX ⇒ 【3-1.フォルダの選択】 【3-3.ファイルの決定】

4. ファイル決定時に読取専用と表示されました

再生することは可能なファイルですが編集することは出来ません

ファイル決定時に「選択したWaveファイルは読取専用です。書き込み可能に変更しますか？」というウィンドウが表示されます。このとき「はい」「いいえ」のボタンをそれぞれ押すと下記のようになります。

- はい 読取専用を解除させます。
ファイル編集作業をすることが出来ます。
※解除出来なかった場合は、「いいえ」と同じ動作になります。
- いいえ 読取専用を解除させません。
ファイル編集作業をすることが出来ません。

関連 TOPIX ⇒ [【3-1.フォルダの選択】](#) [【3-3.ファイルの決定】](#)

【12-2. 再生しても音が聞こえません】

1. 再生しても音が聞こえません

ヘッドホンの接続はしっかりしていますか？

パソコン本体のヘッドホン接続部分を確認して下さい。

関連 TOPIX ⇒ [【2-2.マイク・ヘッドホンの準備】](#)

再生ボリュームを確認して下さい

再生ボリュームのスライダが一番下にありませんか？もう一度確認して下さい。

関連 TOPIX ⇒ [【6-1-2.再生音量の調節】](#)

【12-3. 録音・編集】

1. 録音が綺麗にされませんでした

マイクの接続確認または録音設定をもう一度設定して下さい

マイクの接続部分を確認して下さい。また、マイクの接続を確認したら、[設定] メニューから [録音設定] をもう一度設定しなおして下さい。

関連 TOPIX ⇒ [【2-2.マイク・ヘッドホンの準備】](#) [【4-1.録音前の設定】](#)

2. どれくらいの声の大きさと録音すればいいのですか？

音量レベルメーターの目標範囲(白い部分)が目安です



※目標範囲に届かなくても、録音設定(マイク音量設定・騒音測定・テスト録音)を行い音声補正機能が有効となれば、無理に大きな声を出す必要はありません。

関連 TOPIX ⇒ [【4-1.録音前の設定】](#)

3. IN・OUT とは何ですか？

フレーズの範囲指定を行うときに使います

音声ファイルの部分的な修正を行うときに使います。IN とは開始するフレーズを言います。また、OUT とは終了するフレーズのことを言います。

関連 TOPIX ⇒ [【7-1.IN・OUT の考え方】](#)

【12-4. フレーズ操作】

1. フレーズとはなんですか？

音声データのかたまりのことを言います

フレーズとはある一定の長さで区切られた音声のかたまりのことを言います。区切り時間の

設定によっては音声のかたまりの数が増えたり減ったりします。

関連 TOPIX ⇒ [【6-3.区切り設定の変更】](#) [【8-1.BACK・NEXT ボタンによるフレーズ移動】](#)

2. フレーズ数に制限はありますか？

フレーズ数に制限はあります

作成可能なフレーズ数は 1～9999 フレーズまでになります。

【12-5. 設定】

1. 録音設定はどんな時にするのですか？

- ・朗読をする人が変更になったとき
 - ・録音する部屋が変更されたとき
 - ・使用しているマイクが変更されたとき
 - ・使用しているパソコンが変更されたとき
- など録音環境が変わったときに設定を変更して下さい。

関連 TOPIX ⇒ [【4-1 録音前の設定】](#)

【12-6. エラーメッセージ】

【12-6-1.設定】

1. 「再生音量の設定が出来ませんでした。」

パソコンにサウンド機能が搭載されているか確認して下さい。

※パソコン本体の取扱説明書をお読み下さい。

関連 TOPIX ⇒ [【6-1-2.再生音量の調節】](#)

2. 「マイク音量の設定が出来ませんでした。」

パソコンにサウンド機能が搭載されているか確認して下さい。

※パソコン本体の取扱説明書をお読み下さい。

関連 TOPIX ⇒ [【6-1-1.マイク音量の調節】](#)

3. 「テスト録音に失敗したため、音声補正機能を有効にする事ができませんでした。」

音声補正機能を有効にするには、再度テスト録音を実行して下さい。」

再度テスト録音を行って下さい。

フレーズが出来ない場合は、実際の朗読ではなく、「1、2、3…」とゆっくり数字を数えてお試し下さい。

※テスト録音に失敗する原因として、以下のことが考えられます。

- ・騒音値が高い
- ・パソコンに電氣的ノイズが発生している
- ・音声部分と無音部分（音声がない状態の部分）の差（12dB）が少ない
- ・無音部分の音量が大きすぎる（騒音量の目安は-40dB 未満）

関連 TOPIX ⇒ [【4-1 録音前の設定】](#)

【12-6-2.ファイル】

1. 「書き込み可能に変更出来ませんでした。再生機能のみ有効にします。」

フォルダが読取専用だった場合、書き込み可能にする確認メッセージが表示されます。 (「フォルダ選択時に読取専用と表示されました。」) そこで書き込み可能に出来なかった場合に表示されます。録音機能を有効にする場合はフォルダを書込み可能なフォルダにコピーして、フォルダの選択を行って下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【12-1.ファイル「3.フォルダ選択時に読取専用と表示されました」】
2. 「このフォルダは書き込みが禁止されています。再生機能のみ有効にします。」
選択したフォルダが DVD、CD 等で、ディスク本体で書き込み禁止している場合に 表示されます。 書き込み可能にする場合は、ディスク本体の書き込み禁止を解除して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-2.ファイルの新規作成】
3. 「書き込み可能に変更出来ませんでした。編集機能を使用不可にします。」
Wave ファイルが読取専用だった場合、書き込み可能にする確認メッセージが表示されます。 (「ファイル選択時に読取専用と表示されました。」) そこで書き込み可能に出来なかった場合に表示されます。録音機能を有効にする場合はフォルダを書込み可能なフォルダにコピーして、フォルダの選択を行って下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-3.ファイルの決定】 【12-1.ファイル「4.ファイル決定時に読取専用と表示されました」】
4. 「音声データの無い Wave ファイルは分割出来ません。」
録音されていない Wave ファイルは分割出来ません。 関連 TOPIX ⇒ 【3-2.ファイルの新規作成】 【3-5.ファイルの分割】
5. 「指定された Wave ファイルは削除出来ませんでした。」
他のアプリケーションで使用されていないか確認して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-4.ファイルの削除】
6. 「指定された Wave ファイルは読取専用のため削除出来ませんでした。」
読取専用の Wave ファイルは削除出来ません。 関連 TOPIX ⇒ 【3-3.ファイルの決定】 【12-1.ファイル「4.ファイル決定時に読取専用と表示されました」】
7. 「一般的な Wave ファイルではありません。」
使用出来ない Wave ファイルです。 関連 TOPIX ⇒ 【3-1.フォルダの選択】 【3-2.ファイルの新規作成】
8. 「フォーマット形式が異なるため、再生機能のみ有効にします。」
録音・編集可能な Wave ファイルはフォーマット形式(22.05KHz、16Bit、モノラル)です。 関連 TOPIX ⇒ 【3-1.フォルダの選択】 【3-2.ファイルの新規作成】
9. 「ファイル名が入力されていません。」
ファイル名を入力して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-2.ファイルの新規作成】 【3-5.ファイルの分割】
10. 「ファイル名が長過ぎます。」
ファイル名を短くして下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-2.ファイルの新規作成】 【3-5.ファイルの分割】
11. 「ファイル名に使用出来ない文字 ¥/:*?"<> が入力されています。」
¥/:*?"<> はファイル名に使用出来ません。 関連 TOPIX ⇒ 【3-2.ファイルの新規作成】 【3-5.ファイルの分割】
12. 「同名の Wave ファイルが存在します。」
フォルダ内に同名の Wave ファイルが存在しています。ファイル名を変更して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-2.ファイルの新規作成】 【3-5.ファイルの分割】
13. 「書き込み権限がないため、編集機能を無効にします。」

他のアプリケーションで使用されていないか確認して下さい。 または、ファイルセキュリティの書き込み権限がありません。 ※ファイルセキュリティの詳細は Windows のヘルプを参照して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-3.ファイルの決定】
14. 「ファイル1のファイルは存在しません。」 「ファイル2のファイルは存在しません。」
指定したファイルが存在しないか、ファイル名が異なります。 関連 TOPIX ⇒ 【3-6.ファイルの結合】
15. 「結合できないファイルです。」
指定したファイルは Wave ファイルではありません。 結合可能なファイルは Wave ファイルで、フォーマット形式(22.05KHz、16bit、モノラル)のみです。 関連 TOPIX ⇒ 【3-6.ファイルの結合】
16. 「2 つ以上のフレーズが無い Wave ファイルは分割できません。」
分割を行うには、2 つ以上のフレーズが必要です。 関連 TOPIX ⇒ 【3-5.ファイルの分割】
17. アクセス権が無いため、Wave ファイルは開けません。」
ファイルセキュリティの読み取りと実行権限がありません。 もしくは、同等の権限をユーザーに与えられていない可能性があります。 ※ファイルセキュリティの詳細は、Windows のヘルプを参照して下さい。

【12-6-3.IN・OUT フレーズ操作】

1. 「前回編集時の IN・OUT フレーズを呼び出せません。」
【7-6-1.フレーズの呼び出し】を参照して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
2. 「IN フレーズを設定して下さい。」
【7-6-2.フレーズの切り取り】を参照して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
3. 「IN と OUT が同フレーズなので切り取り出来ません。」
【7-6-2.フレーズの切り取り】を参照して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
4. 「音声データが無いため、IN フレーズは設定出来ません。」
録音されていない Wave ファイルでは使用出来ません。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
5. 「音声データが無いため、OUT フレーズは設定出来ません。」
録音されていない Wave ファイルでは使用出来ません。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
6. 「音声データが無いため、MARK は設定出来ません。」
録音されていない Wave ファイルでは使用出来ません。 関連 TOPIX ⇒ 【8-2-1.MARK ボタンの使い方】
7. 「OUT フレーズより大きいフレーズは設定出来ません。」
IN フレーズは OUT フレーズより小さいフレーズを設定して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
8. 「IN フレーズより小さいフレーズは設定出来ません。」

OUT フレーズは IN フレーズより大きいフレーズを設定して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
9. 「OUT フレーズより現在フレーズの方が大きいため再生出来ません。」
現在位置を OUT フレーズの開始時間より小さくして下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
10. 「OUT フレーズより現在フレーズの方が大きいため録音出来ません。」
現在位置を OUT フレーズの開始時間より小さくして下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【7.IN・OUT の操作】
11. 「分割フレーズが入力されていません。」
Wave ファイルを分割する位置(フレーズ番号)を入力して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-5.ファイルの分割】
12. 「分割フレーズに数値以外が入力されています。」
数値を入力して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-5.ファイルの分割】
13. 「分割フレーズは 1～〇の範囲で入力して下さい。」
メッセージに表示された範囲の数値を入力して下さい。 関連 TOPIX ⇒ 【3-5.ファイルの分割】
14. 「フレーズ先頭のため分割できません。」
フレーズの先頭ではフレーズ分割は行えません。 関連 TOPIX ⇒ 【7-7.フレーズ分割】

【12-6-4.校正票画面呼び出し】

1. 「校正票一覧を編集中はファイル変更できません。校正票画面を閉じてから実行してください。」
校正票追加画面、もしくは校正票編集画面を表示中は Wave ファイルを変更することができません。
2. 「校正票一覧を編集中は送信できません。校正票画面を閉じてから実行してください。」
校正票追加画面、もしくは校正票編集画面を表示中は Recdia から校正時間を設定することができません。
3. 「校正票一覧を編集中は削除できません。校正票画面を閉じてから実行してください。」
校正票追加画面、もしくは校正票編集画面を表示中は選択した Wave ファイルを削除できません。
4. 「指定された校正データファイルは読取専用のため削除出来ません。」
読取専用の校正データファイル(選択した Wave ファイル名+拡張子:prof)は、削除出来ません。

※校正票画面でのエラーメッセージについては、別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。

【12-6-5.アプリケーション】

1. 「システムをスタンバイ状態にする場合は Recdia を終了して下さい。」
システムをスタンバイ状態、または休止状態にする場合は先に Recdia を終了して下さい。
2. 「録音デバイスクエリー NG」→「致命的なエラーが発生したため、アプリケーションを終了します。」

パソコンのオーディオ録音デバイスが「無効」の状態では Recdia のファイル決定をしたときにエラーが発生します。

Recdia を使用する際には、録音するための機材をパソコンに接続して下さい。

(機材が USB 音源であれば USB 端子に、マイク、録音用ケーブルであればマイク端子に接続します)

3. 「致命的なエラーが発生したため、アプリケーションを終了します。」

お手数ですが、弊社まで御連絡下さい。

【12-7. その他】

1. ショートカットキーとはなんですか？

マウス操作の代わりに複数キーの組み合わせで任意のプログラムを起動したり、機能を実行したりするキーボードキーのことをいいます。

このショートカットキーを使えばマウスを使うよりも速く効率的に操作することができます。

どのボタンにどのショートカットキーが割り当てられているのかは【2-5.各部の名称】を参照して下さい。

また、Alt+■(アルファベット)については同時に押すことを意味しています。

2. パソコンを新しく購入しましたが、Recdia の導入方法が分かりません

別冊『Recdia インストールガイド・ユーザー登録ガイド』を参照して下さい。

3. 画面、文字がずれて表示されます

ディスプレイの設定(「画面のプロパティ」の「ディスプレイの詳細」)において、「大きいフォント」が指定されていると、ボタン名称やラベル文字列等、表示しきれない場合があります。その場合には「小さいフォント」に変更する等して下さい。

以下の設定で表示を確認しております。

画面の領域 : 800 × 600 以上

画面デザイン : 標準、大きいフォント、特大フォント

フォントサイズ : 小さいフォント～その他(200%)

※ただし、使用されているパソコン・OSの種類によって
上記設定でも正しく表示されない場合があります。

13. 仕様諸元

■ 動作環境	
OS	Microsoft Windows10 Microsoft Windows8.1 Microsoft Windows7
CPU・メモリ	上記 OS 推奨基準を満たしているもの
HDD	10MB 以上の空き容量(録音(※1)に使用する容量は含まない) ※1 60 分の録音に 160MB の空き容量が必要
サウンド	サウンドカード(※2)または USB オーディオキャプチャー(※3)、 マイク、スピーカーもしくはヘッドフォン ※2 SoundBLASTER シリーズもしくは同等の性能を有するものを推奨 ※3 Roland UA-4FX2 もしくは同等の性能を有するものを推奨
その他	SuperVGA(800x600)以上の高解像度ビデオアダプタ及びモニタ キーボードおよび MicrosoftMouse またはこれらと交互のポインティングデバイス

■ 録音形式	
サンプリング周波数	22050Hz
量子化ビット	16bit
チャンネル	モノラル

14. ショートカットキー一覧

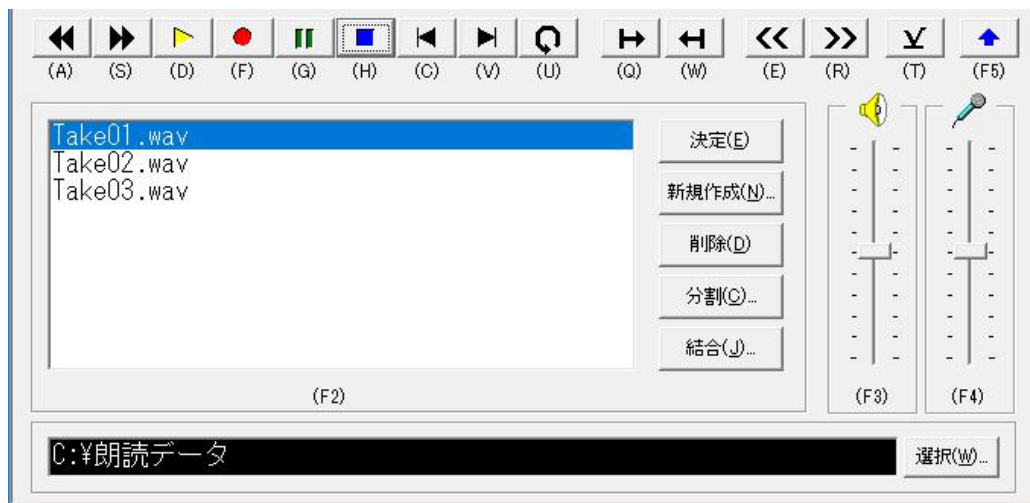
◆ショートカットキーについての説明や、使用方法については、【1-1. ソフトの概要】を参照して下さい。

■メニューバー・リスト	
	
ファイルメニュー	Alt + F
Recdia の終了	Alt + F で[ファイル]メニューを開いた後、X を押す
表示メニュー	Alt + V
表示(標準)	Alt + V で[表示]メニューを開いた後、N を押す
表示(縮小)	Alt + V で[表示]メニューを開いた後、S を押す
音声波形表示	Alt + V で[表示]メニューを開いた後、W を押す
フレーズ表示	Alt + V で[表示]メニューを開いた後、P を押す
マーク表示	Alt + V で[表示]メニューを開いた後、M を押す
再生スピードメニュー	Alt + S
区切り設定メニュー	Alt + K
フレーズ操作メニュー	Alt + P
MARK 検索	Alt + P で[フレーズ操作]メニューを開いた後、M を押す
MARK 全クリア	Alt + P で[フレーズ操作]メニューを開いた後、A を押す
前の MARK へ移動	Shift + E または Alt + P で[フレーズ操作]メニューを開いた後、B を押す
次の MARK へ移動	Shift + R または Alt + P で[フレーズ操作]メニューを開いた後、N を押す
呼び出し	Shift + Z
切り取り	Shift + X
フレーズ分割	Shift + D
設定メニュー	Alt + T
マイク音量設定	Alt + T で[設定]メニューを開いた後、M を押す
騒音測定	Alt + T で[設定]メニューを開いた後、N を押す
テスト録音	Alt + T で[設定]メニューを開いた後、R を押す
フィルタ設定	Alt + T で[設定]メニューを開いた後、F を押す
校正票画面メニュー	Alt + R
校正票一覧画面表示	Alt + R で[校正票画面]メニューを開いた後、V を押す
校正票追加・編集画面表示	Alt + R で[校正票画面]メニューを開いた後、A を押す
校正情報作成	Alt + R で[校正票画面]メニューを開いた後、D を押す
校正開始位置の補正值設定	Alt + R で[校正票画面]メニューを開いた後、S を押す
ヘルプメニュー	Alt + H
ヘルプ	Alt + H で[ヘルプ]メニューを開いた後、N を押す
バージョン情報	Alt + H で[ヘルプ]メニューを開いた後、A を押す

※メニューリスト内で、画面上にボタンがあるものについてのショートカットキーは

次の■画面上の各機能を参照して下さい。

■画面上の各機能



選択ボタン	Alt + W
Wave ファイルリスト	F2 を押下後、ファイルリスト内を矢印 ↑ ↓ キーで選択
決定ボタン	Alt + E
新規作成ボタン	Alt + N
削除ボタン	Alt + D
分割ボタン	Alt + C
結合ボタン	Alt + J
再生音量スライダ	F3 を押下後、ファイルリスト内を矢印 ↑ ↓ キーで選択
マイク音量スライダ	F4 を押下後、ファイルリスト内を矢印 ↑ ↓ キーで選択
表示切替ボタン	F5
巻戻しボタン	A (1 回押す: 10 倍速、2 回押す: 120 倍速、3 回押す: 600 倍速、4 回以上: 1~3 を繰り返す)
早送りボタン	S (1 回押す: 10 倍速、2 回押す: 120 倍速、3 回押す: 600 倍速、4 回以上: 1~3 を繰り返す)
再生ボタン	D (停止中に押すとスペースキーでも再生可)
録音ボタン	F (1 回押し: 録音一時停止状態、もう一度押すと録音開始)
一時停止ボタン	G (一時停止中に押すと解除)
停止ボタン	H (再生中に押すとスペースキーでも停止可)
頭出し(HEAD)ボタン	C
末尾移動(TAIL)ボタン	V
IN ボタン	Q (2 回押すと解除)
OUT ボタン	W (1 回押し: OUT 固定なし、2 回押し: OUT 固定あり、3 回押し: 解除)
BACK ボタン	E (Shift + E で MARK 移動)
NEXT ボタン	R (Shift + R で MARK 移動)
MARK ボタン	T または M (2 回押すと解除)
UNDO ボタン	U